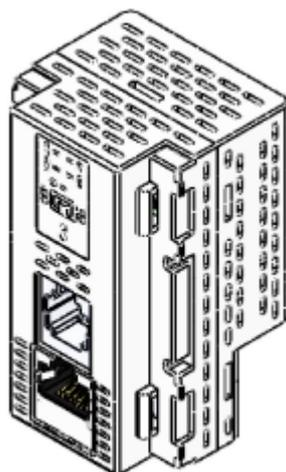


壁埋め込み型 Wi-Fi アクセスポイント／ルーター FGN-R4

－ 設定説明書 －



目次

1	はじめに	8
1.1	製品の特長	8
1.2	各部の名称と機能	9
1.3	筐体寸法図	11
1.4	設置方法（スイッチボックスへの取り付け方法）	12
2	Web 設定について	13
2.1	Web GUI へのアクセス方法	13
2.1.1	GUI にアクセス出来ない場合の確認事項	14
2.2	〔保存〕 ボタンと 〔適用〕 ボタン	14
3	状態表示	15
4	動作モード設定	18
5	IP 設定	19
5.1	WAN（ルーターモード時）	19
5.1.1	WAN 接続タイプ DHCP（自動取得）	20
5.1.2	WAN 接続タイプ PPPoE	21
5.1.3	WAN 接続タイプ IP アドレス固定	22
5.2	LAN 設定	23
5.2.1	DHCP サーバーのクライアント表示	24
5.2.2	固定 IP アドレス付与設定	25
6	無線 LAN	26
6.1	5GHz 無線 LAN 設定	26
6.1.1	基本設定	26
6.1.1.1	マルチ SSID 設定	27
6.1.1.2	無線 LAN 接続クライアント表示	28
6.1.2	拡張設定	29
6.1.3	セキュリティ設定	30
6.1.3.1	暗号化 WEP	31
6.1.3.2	暗号化 WPA/WPA2/WPA-Mixed パーソナル（事前共有キー）	32
6.1.3.3	暗号化 WPA/WPA2/WPA-Mixed エンタープライズ（RADIUS）	33
6.1.4	アクセス制御設定	34
6.1.5	サイトサーベイ	35
6.2	2.4GHz 無線 LAN 設定	36
6.2.1	基本設定	36
6.2.1.1	マルチ SSID 設定	37
6.2.1.2	無線 LAN 接続クライアント表示	38
6.2.2	拡張設定	39
6.2.3	セキュリティ設定	40

6.2.3.1	暗号化 WEP	41
6.2.3.2	暗号化 WPA/WPA2/WPA-Mixed パーソナル (事前共有キー)	42
6.2.3.3	暗号化 WPA/WPA2/WPA-Mixed エンタープライズ (RADIUS)	43
6.2.4	アクセス制御設定	44
6.2.5	サイトサーベイ	45
7	NAT	46
7.1	DMZ 設定	46
7.2	ポートホワーディング設定	47
8	詳細設定 - ファイアウォール設定	48
8.1	ポートフィルタリング	48
8.2	IP フィルタリング設定	49
8.3	MAC フィルタリング設定	50
8.4	URL フィルタリング設定	51
9	システム管理	52
9.1	パスワード設定	52
9.2	ファームウェアバージョンアップ	52
9.3	設定保存・読み込み設定	53
9.4	リモート管理	53
9.5	時刻情報	54
9.6	VPN パススルー	55
9.7	スピードテスト	56
9.8	統計	57
9.9	システムログ	58
9.10	LED 設定	59
10	再起動・リセット・ログアウト	60
10.1	再起動	60
10.2	リセット	60
10.3	ログアウト	61
11	付録	62
11.1	初期値一覧	62
11.2	制限値一覧	63
11.3	製品仕様	63
11.4	トラブルシューティング/Q&A 集	65

安全にお使い頂くために

－ご注意－

- 本機の故障、誤動作、不具合あるいは天災や停電等の外的要因によって、通信の機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失、及び誤った設定を行ったために生じた損害賠償につきまして、当社は一切その責任を負いません。
- 通信内容の漏洩や改ざん等による精神的損害・純粋経済損失につきまして、当社は一切その責任を負いません。
- 本機は日本国内向け技術基準適合証明のみ取得しておりますので、海外では利用できません。

－無線 LAN に関する注意事項（2.4GHz 帯使用の無線機器について）－

本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器の他、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 万が一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して、電波干渉の事例が発生した場合には、通信環境・設置環境（混信回避のための処理、パーティションの設置等）をご確認下さい。
- 本機を医療機器や心臓ペースメーカー、植込み型除細動器を装着している人の近くで使用しないで下さい。医療機器の誤動作の原因となります。
- 本機を電子レンジの近くで使用しないで下さい。
電子レンジ使用時、電磁波の影響によって本機の無線通信が妨害される恐れがあります。
- 本機の電波の種類と干渉距離については下記の通りです。



- 2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示します。
- DS/OF : DS-SS 方式、及び OFDM 方式を示します。
- 4 : 想定される干渉距離が 40m 以下を示します。
- ■ ■ : 全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能なことを示します。

－無線 LAN に関する注意事項（5GHz 帯使用の無線機器について）－

5.2/5.3GHz 帯域を屋外で使用することは、電波法によって禁止されています。

—お取り扱い上のご注意—

安全に正しくお使い頂き、お客様や財産への損害を防ぐために、以下のマークの記されている項目を必ずお守り下さい。

！警告

取り扱いを誤った場合、人が死亡あるいは重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

！注意

取り扱いを誤った場合、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

！警告

- 極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器、電算機システム、医療システム等）では使用しないで下さい
- 本機の通気孔をふさがないでください。
- 本機を医療機器や心臓ペースメーカー、植込み型除細動器を装着している人の近くで使用しないで下さい。医療機器の誤動作の原因となります。
- 落雷の恐れがある場合は本機の使用を直ちに中止し、接続されているケーブルを取り外して下さい。落雷により本機及び本機が接続されている機器の故障、発煙、発火の可能性があります。なお、落雷等の天災による故障の場合、保障期間内であっても有償修理となりますので、あらかじめご了承下さい。
- 本機から煙が出たり異臭が発生した場合等、異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。その際は電源を切り、煙が出なくなる、もしくは異臭が消えることを確認した後、当社へご連絡下さい。
- 濡れた手で本機の操作や接続作業を行わないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- 本機を分解・改造しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。また、故障した場合、保証期間内であっても保証を受けられなくなります。
- 本機の近くに花瓶や植木鉢、コップ、化粧品、薬品等の液体が入った容器、小さな金属等を置かないで下さい。これらの異物が本製品の内部に混入した場合、火災、感電、故障の原因となります。また、本機の内部に水や金属等の異物が混入した場合、すぐに本製品の電源を **OFF** にし、販売元へご連絡下さい。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。
- 本機は屋内用として開発されております。屋外へ設置したり、屋外で使用することはお止め下さい。雨やほこり等により故障、破損の原因となります。
- 本機を調理台の近く等、油飛びや湯気のあたるような場所、及びごみやほこりの多い場所に設置しないで下さい。

！注意

- 本機を高温多湿な場所、直射日光の当たる場所、炎天下の車内、熱器具や加湿器等の近くで設置・保管・放置しないで下さい。
- 本機の動作中は本機内部及び外側が熱くなることがあります。本機のそばにビニール等、熱により熔けやすいものを置かないで下さい。
- 本機の通気孔をふさいだり、重ねて設置しないで下さい。
- 本機を温度差の激しいところや、結露するような場所へ設置しないで下さい。故障の原因となります。
- 本機を長期間ご使用にならないときは、電源を **OFF** にし、本機に接続されている各種ケーブルを外して下さい。
- 本機の **RJ45** コネクタに異物を挿入しないで下さい。感電、故障の原因となります。

－無線 LAN のセキュリティについて－

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えて全ての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる。
悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、
 - ・ ID やパスワード
 - ・ クレジットカード番号等の個人情報
 - ・ メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される。
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
 - ・ 個人情報や機密情報を取り出す。(情報漏洩)
 - ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す。(なりすまし)
 - ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する。(改ざん)
 - ・ コンピュータウイルス等を流しデータやシステムを破壊する。(破壊)等の行為をされてしまう可能性があります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、適宜、セキュリティに関する設定を行い、本機を使用して下さい。

－その他 無線 LAN に関する留意事項－

- 無線 LAN が使用する電波は、一般家屋で使用されている木材やガラス等は通過しますが、金属は通過しません。コンクリートの壁でも内部に金属補強材が使われている場合は通過しません。
- ビル内等の比較的広いフロアであっても、フロア内に金属製パーティション等の遮蔽物がある場合、通信できないことがあります。
- 本機を使用することにより、テレビ、ラジオ、携帯電話等に雑音が入る場合、以下のように対処して下さい。
 - ・ 雑音が入る機器と本機の距離を離す。
 - ・ 雑音が入る機器と本機の電源を、それぞれ別の場所から取る。
- 通信速度は無線 LAN 規格で定められたデータ通信速度の最大値であり、実際のデータ通信速度(実効値)ではありません。
- 無線 LAN の伝送距離や通信速度は、使用環境や周辺環境により大きく変動します。

－電波障害に関する自主規制について－

本機はクラス B 情報技術装置です。本機は家庭環境で使用することを目的としていますが、本機がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをして下さい。

－商標について－

- Microsoft[®] Windows[®] 7 Operating System は米国 Microsoft Corporation の米国、及びその他の国における商標です。
- その他、記載の会社名、及び製品名は各社の商標または登録商標です。

－その他－

- 本機の仕様や外観、内部のソフトウェア（ファームウェア）については、改良のため予告無しに変更することがあります。
- 本書の内容については、将来予告無く変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や誤り・記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡下さい。

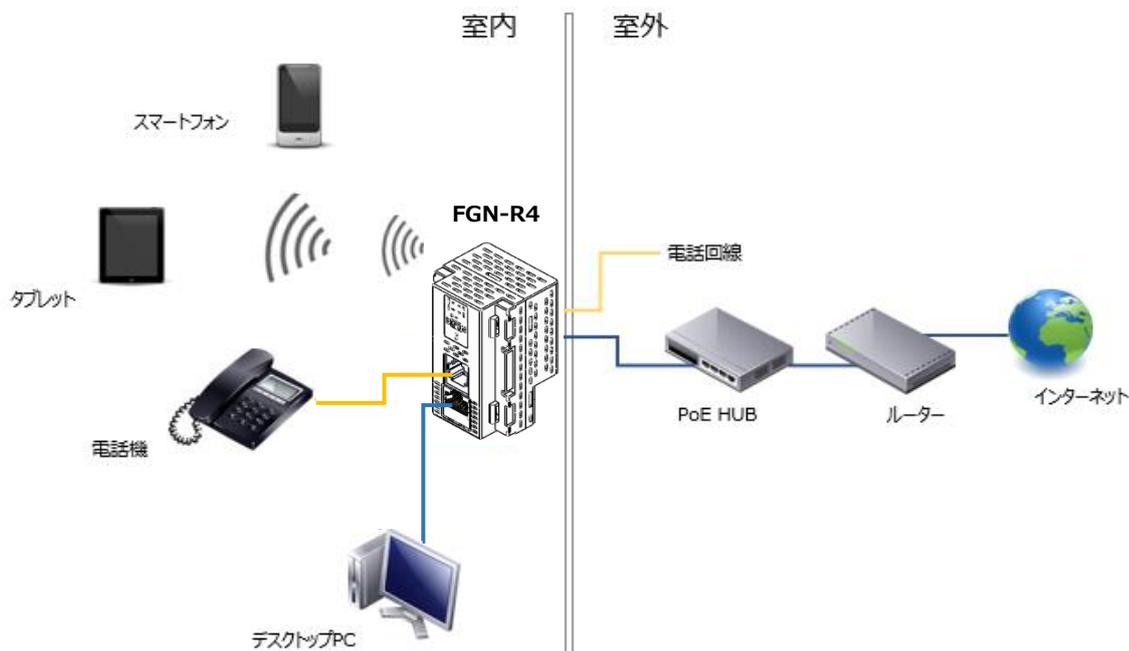
1 はじめに

1.1 製品の特長

本機は IEEE802.11ac に対応した壁埋め込み型の無線 LAN アクセスポイント／ルーターです。本機は以下のような特長があります。

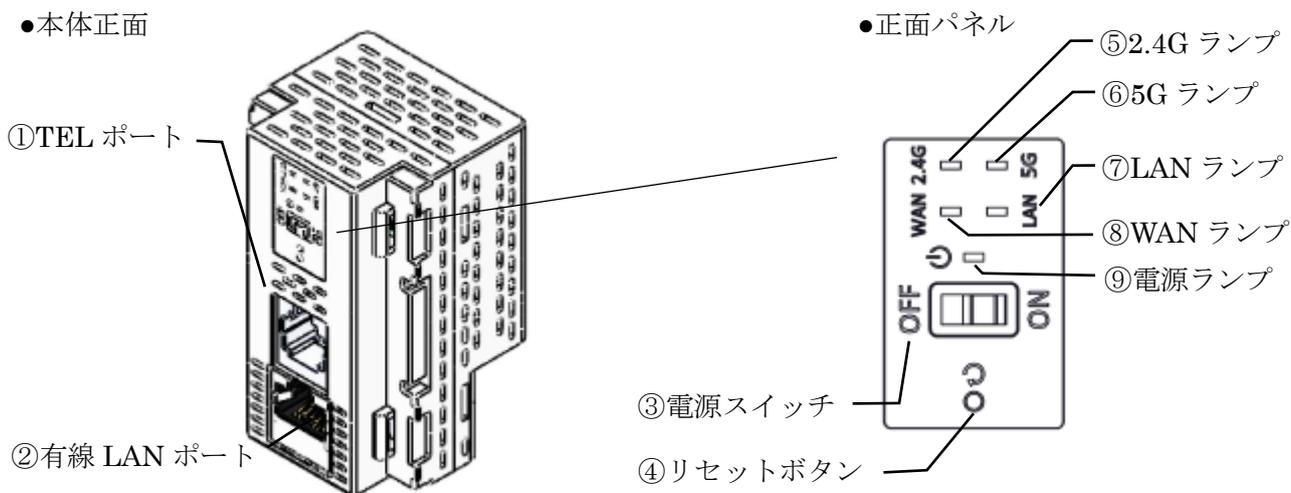
- 5GHz IEEE 802.11a/n/ac に対応。最大通信速度 433Mbps（理論値）の高速通信が可能。
- 2.4GHz IEEE 802.11b/g/n に対応。最大通信速度 300Mbps（理論値）の高速通信が可能。
- Power over Ethernet(IEEE 802.3af に準拠)に対応。WAN 側ポートが受電対応のため PoE 給電対応 HUB と接続するだけで電源を取得でき、施工時間の短縮が可能。
- JIS 標準規格で規定されたスイッチボックスに取り付け可能。
- 無線 LAN アンテナを内蔵。大きな突起物がないためオフィスや部屋等の壁面でも目立ちません。
- マルチ SSID 対応。(2.4GHz 最大 5 つ、5GHz 最大 5 つまで設定可能。)
- 有線 LAN はギガビットポートを搭載。
(10/100/1000Mbps、LAN 側 1 ポート／WAN 側 1 ポート : PoE 受電に対応)
- LED ランプ点灯の OFF/ON が可能。

ネットワーク接続例



1.2 各部の名称と機能

●本体正面



① TEL ポート

電話機と接続する RJ11 ポートです。

② 有線 LAN ポート

本製品と PC 等の端末を接続する RJ45 ポートです。

③ 電源スイッチ

本機の電源の ON/OFF を操作するスライドスイッチです。

④ リセットボタン

本機の設定を工場出荷値に戻す際に使用します。

本機の電源が ON の状態で細い棒等で本ボタンを 10 秒以上長押しして下さい。

(ボタンを離すと自動的に本機が再起動を行い、設定が工場出荷値に戻ります。)

⑤ 2.4G ランプ (緑色) ⑥ 5G ランプ (緑色)

点灯	電源が入っており該当周波数の無線 LAN が有効状態です。
点滅	端末との無線 LAN 通信状態です。
消灯	電源が入っていない、または該当周波数の無線 LAN が無効状態です。

⑦ LAN ランプ ⑧ WAN ランプ

LED 色はリンク速度により異なります。

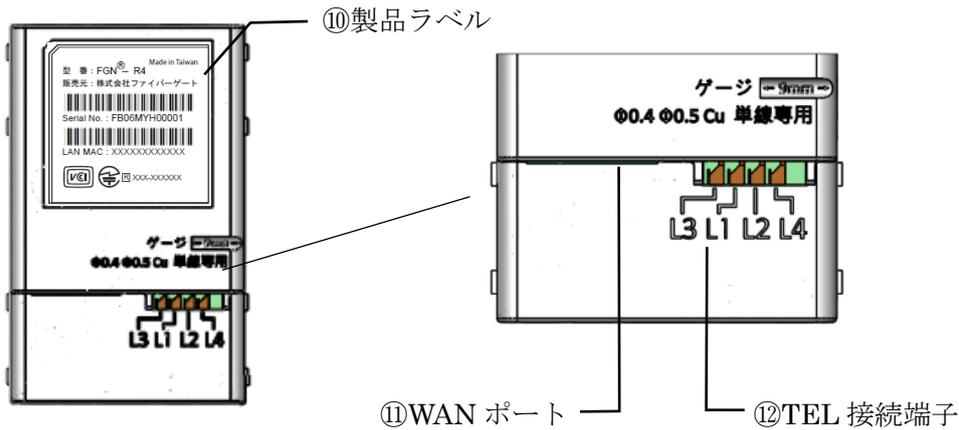
(緑色) 100BASE-TX/10BASE-T (橙色) 1000BASE-T

点灯	リンクが確立している状態です。
点滅	接続機器と通信中の状態です。
消灯	リンクが確立していない状態です。

⑨ 電源ランプ (緑色)

点灯	本機に電源が入っています。
点滅	本機の起動時の状態です。
消灯	本機に電源が入っていません。

●本体背面



⑩ 製品ラベル

シリアル番号、LAN-MAC アドレス、その他情報を記載しています。

⑪ WAN ポート

壁内の PoE HUB 又は PoE インジェクターへケーブルを本ポートに接続します。

⑫ TEL 接続端子

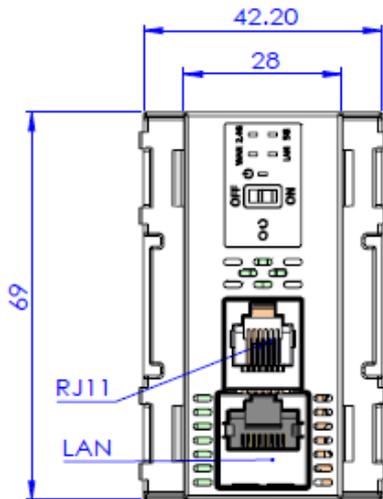
電話線を接続する 4 芯端子です。

端子の配列	L1・L2 と L3・L4
接続方法	①電話線を皮むきし、芯線に曲がりがないようまっすぐにします。 ②対象の電話線の穴に対し下部のオレンジのつまみを押し下げながら奥まで十分に差込みます。
取り外し方	対象の電話線の穴に対し下部のオレンジのつまみを押し下げながら電話線を引き抜きます。

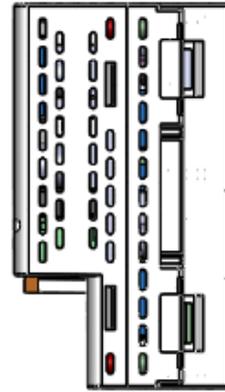
1.3 筐体寸法図

単位：mm

●正面



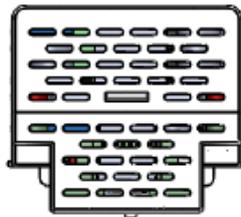
●左側面



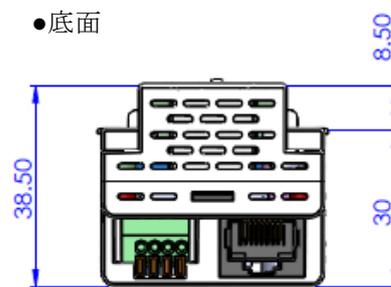
●背面



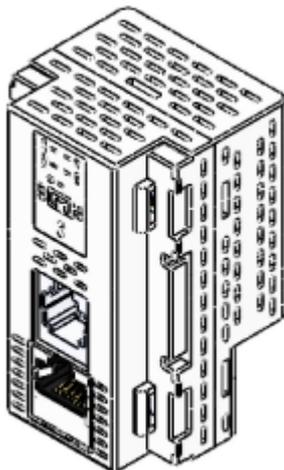
●上面



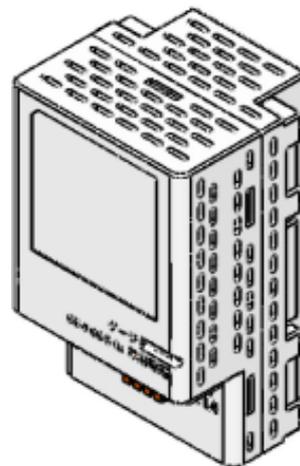
●底面



●本体正面



●本体背面



1.4 設置方法 (スイッチボックスへの取り付け方法)

1



本機を正面にし、コンセント取付枠を取り付けます。

※取り付け、取り外しの際は、コンセント取付枠の取扱説明書に沿って作業下さい。無理な取り付け、取り外しは、本機の爪折れの原因となります。

- 本機との取り付け検証済み コンセント取付枠
 - ・パナソニック コスモワイド 21 シリーズ WTF3710K
 - ・パナソニック WN3710

2



本機背面の WAN ポートへ PoE 給電機器に接続されているイーサネットケーブルを接続します。

※本機へイーサネットケーブルを接続する前に、本機の電源スイッチが OFF であることを確認下さい。電源スイッチ ON の状態でイーサネットケーブルを接続した場合、予期せぬ故障の原因となります。ケーブルを抜く場合も同様に電源スイッチ OFF の状態で作業下さい。

3



本機をスイッチボックスに取り付け、カバープレートの取付枠を付けます。

4



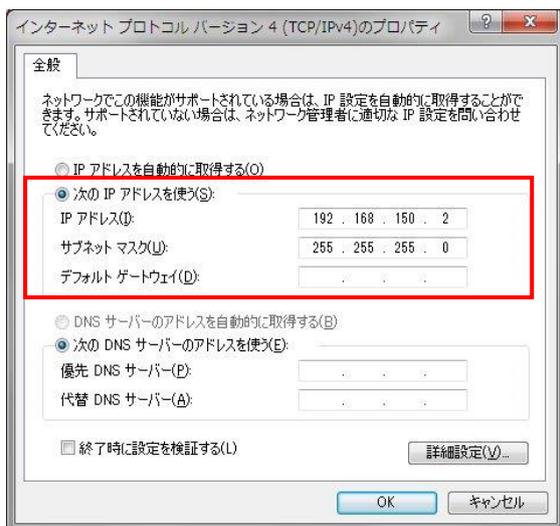
最後にカバープレートを取り付けます。

2 Web 設定について

2.1 Web GUI へのアクセス方法

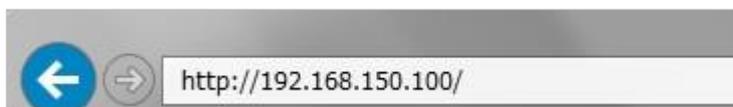
- ① 本機前面の「LAN」と PC を LAN ケーブル (RJ-45) で接続して下さい。
- ② 設定する PC の IP アドレスを下記のように固定設定して下さい。
 - ・ IP アドレス : 192.168.150.2~192.168.150.254
 - ・ サブネットマスク : 255.255.255.0

例) Windows7 の設定例



【注意】 IP アドレスを「自動的に取得する」に設定にすると、本機の GUI へアクセス出来ません。

- ③ PC でブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.150.100」を入力して下さい。



- ④ 下記のようにユーザー名とパスワードの入力画面が表示されますので、下記のユーザー名とパスワードを半角英数字で入力して「OK」ボタンをクリックして下さい。



ユーザー名とパスワードについては、本機ご購入先へお問い合わせ下さい。

- ⑤ 本機の設定画面 (トップ画面/状態表示画面) が表示されます。

2.1.1 GUI にアクセス出来ない場合の確認事項

下記を確認して下さい。

- PC と本機背面の「LAN」ポートが、RJ-45 ケーブルで正しく接続されているか確認して下さい。(本機前面の「LAN」LED が点灯していることを確認して下さい。)
- PC の IP アドレスを「192.168.150.2～192.168.150.254」の範囲の中で固定設定にしていますか？
本機が工場出荷状態の場合、上記の IP アドレスに固定設定しないと、GUI へアクセス出来ません。

2.2 [保存] ボタンと [適用] ボタン

各設定画面中の [保存] ボタンをクリックした場合、設定値自体は保存されますが、設定値を実動作へ反映させるためには本製品を再起動する必要があります。

[適用] ボタンをクリックした場合、その直後に再起動が開始し、設定値が実動作へ反映されます。

LAN設定

IPアドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

DHCPタイプ

付与IPアドレス範囲 -

リース期限 (1 ~ 10080 分)

固定IPアドレス

ホスト名

設定値は保存されますが、再起動が必要です。

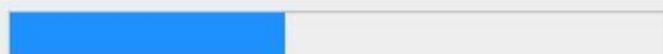
設定値が即座に反映されます。
(カウントダウンが表示され、再起動が行われます。)



設定を保存中です。

本機の電源を切らずに、そのままお待ち下さい。

あと **21** 秒



3 状態表示

本機の動作状態を表示します。

左のメニューリストから「状態表示」を選択します。

システム情報	
起動時間	
ファームウェアバージョン	
ビルド時刻	

5GHz無線設定 - RootSSID	
周波数	5 GHz (A+N+AC)
SSID	+00000_5g_03c0fc
チャンネル番号	40
セキュリティ	Disabled
BSSID	98:2d:ba:03:c1:06
接続中のクライアント	0

5GHz設定 - マルチSSID1	
周波数	5 GHz (A+N+AC)
SSID	test000001
セキュリティ	Disabled
BSSID	98:2d:ba:03:c0:fd
接続中のクライアント	0

2.4GHz無線設定 - RootSSID	
周波数	2.4 GHz (B+G+N)
SSID	+00000_03c0fc
チャンネル番号	9
セキュリティ	Disabled
BSSID	98:2d:ba:03:c1:07
接続中のクライアント	0

※本画面はルーターモード時の表示になります。

● システム

システム情報	
起動時間	
ファームウェアバージョン	
ビルド時刻	

- ・システム起動時間 : 本機が起動してからの経過時間を表示します。
- ・ファームウェアバージョン : ファームウェアバージョンを表示します。
- ・ビルド時刻 : ファームウェアの作成時刻を表示します。

● 5GHz 無線設定 - RootSSID

5GHz無線設定 - RootSSID	
周波数	5 GHz (A+N+AC)
SSID	+00000_5g_03c0fc
チャンネル番号	40
セキュリティ	Disabled
BSSID	98:2d:ba:03:c1:06
接続中のクライアント	0

- ・ 周波数 : 無線 LAN の周波数を表示します。
- ・ SSID : 無線 LAN の RootSSID を表示します。
- ・ チャンネル : 無線 LAN のチャンネル番号を表示します。
- ・ セキュリティ : 無線 LAN のセキュリティ (暗号化等) を表示します。
- ・ BSSID : アクセスポイントの BSSID (MAC アドレス) を表示します。
- ・ 接続中のクライアント : 接続中の無線 LAN クライアント数を表示します。

● 5GHz 無線設定 - マルチ SSID1~4

5GHz設定 - マルチSSID1	
周波数	5 GHz (A+N+AC)
SSID	test000001
セキュリティ	Disabled
BSSID	98:2d:ba:03:c0:fd
接続中のクライアント	0

本機の無線 LAN がアクセスポイントとして動作し、かつマルチ SSID 有効時に表示されます。表示項目は **RootSSID** と同じです。

● 2.4GHz 無線設定 - RootSSID

2.4GHz無線設定 - RootSSID	
周波数	2.4 GHz (B+G+N)
SSID	+00000_03c0fc
チャンネル番号	9
セキュリティ	Disabled
BSSID	98:2d:ba:03:c1:07
接続中のクライアント	0

周波数の項目以外は、**5GHz 無線設定 - RootSSID** と同じです。

● 2.4GHz 無線設定 - マルチ SSID1~4

2.4GHz設定 - マルチSSID1	
周波数	2.4 GHz (B+G+N)
SSID	test000002
セキュリティ	Disabled
BSSID	98:2d:ba:03:c1:01
接続中のクライアント	0

本機の無線 LAN がアクセスポイントとして動作し、且つマルチ SSID 有効時に表示されます。表示項目は **RootSSID** と同じです。

● LAN 設定

LAN設定	
LAN IPアドレス	192.168.150.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.150.1
DHCPタイプ	サーバー
MACアドレス	98:2d:ba:03:c0:fc

※本画面はルーターモード時の表示になります。

- ・ LAN IP アドレス : LAN 側の IP アドレスを表示します。
- ・ サブネットマスク : LAN 側のサブネットマスクを表示します。
- ・ DHCP タイプ : DHCP サーバーの有効 (サーバー) / 無効を表示します。
- ・ MAC アドレス : LAN 側ポートの MAC アドレスを表示します。

AP モード時では上記項目に加え、デフォルトゲートウェイの項目が表示されます。
デフォルトゲートウェイの値は、LAN 設定で設定したデフォルトゲートウェイの値が表示されます。

● WAN ポート (動作モードがルーターモード時のみ表示)

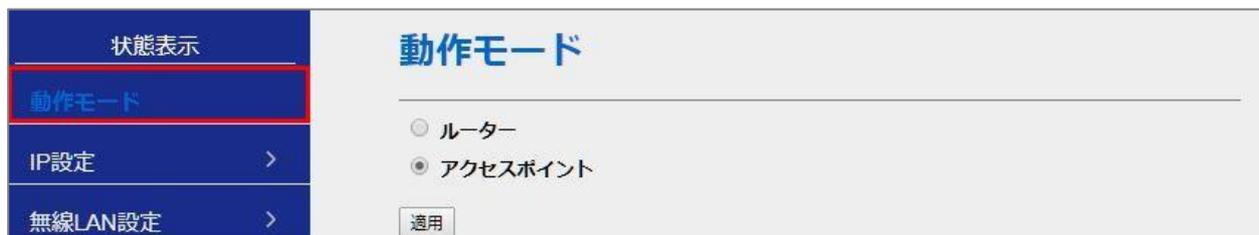
WAN設定	
接続タイプ	Getting IP from DHCP server...
WAN IPアドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
MACアドレス	98:2d:ba:03:c1:05

- ・ 接続タイプ : WAN 側の接続タイプを表示します。
- ・ WAN IP アドレス : WAN 側の IP アドレスを表示します。
- ・ サブネットマスク : WAN 側のサブネットマスクを表示します。
- ・ デフォルトゲートウェイ : WAN 側のデフォルトゲートウェイを表示します。
- ・ MAC アドレス : WAN 側ポートの MAC アドレスを表示します。

4 動作モード設定

本製品の動作モードの設定を行います。

左のメニューリストから「動作モード」を選択します。



- ・アクセスポイント : 本機をアクセスポイント（ルーター機能無効）として利用します。本機は有線 LAN/無線 LAN ブリッジとして動作し、本機の LAN 側の端末は、上流のルーターによって IP アドレス変換（NAT）が行われ、インターネットへ接続します。
- ・ルーター : 本機をルーターとして利用します。本機の LAN 端末は、本機で IP アドレス変換（NAT）が行われた後、上流のルーターを介してインターネットへ接続します。

【注意】 本項の設定を変更した後、[適用] ボタンをクリックすると、直後より再起動が行われます。

- 各モード設定時に有効となる機能一覧になります。

機能	アクセスポイント	ルーター
状態表示機能	○	○
動作モード設定機能	○	○
WAN 設定機能	×	○
LAN 設定機能	○	○
5GHz 無線設定機能	○	○
2.4GHz 無線設定機能	○	○
DMZ 設定機能	×	○
ポートフォワーディング設定機能	×	○
ポートフィルタリング設定機能	×	○
IP フィルタリング設定機能	×	○
MAC フィルタリング設定機能	×	○
URL フィルタリング設定機能	×	○
ファームウェアバージョンアップ機能	○	○
設定保存・読み込み機能	○	○
リモート管理設定機能	×	○
タイムゾーン設定機能	○	○
VPN パススルー機能	×	○
スピードテスト機能	×	○
システムログ機能	○	○
LED 設定機能	○	○

5 IP 設定

本製品の WAN 側（ルーターモード時）、LAN 側インターフェースの IP 設定を行います。

5.1 WAN（ルーターモード時）

本製品の WAN ポート側に接続する回線・ネットワーク構成により 3 パターンの設定があります。
左のメニューリストから「IP 設定」→「WAN 設定」を選択します。

The screenshot shows the WAN configuration interface for the FG-NR4 router in Router Mode. The left sidebar contains a menu with the following items: 状態表示, 動作モード, IP設定 (expanded), WAN設定 (highlighted with a red border), LAN設定, 無線LAN設定 (expanded), 5GHz 無線LAN設定, 2.4GHz 無線LAN設定, NAT設定, and ファイアウォール 設定. The main content area is titled 'WAN設定' and includes the following settings:

- WAN接続タイプ: DHCP (自動取得)
- ホスト名: default
- MTU Size: 1500 (1280-1500 bytes)
- DNS自動取得 (selected)
- DNS固定設定 (unselected)
- プライマリーDNS: 0.0.0.0
- セカンダリーDNS: 0.0.0.0
- UPnPを有効にする (unselected)
- IGMP Proxyを有効にする (selected)

At the bottom of the settings area are three buttons: 保存, 適用, and キャンセル.

5.1.1 WAN 接続タイプ DHCP (自動取得)

「WAN 接続タイプ」で「DHCP(自動取得)」を選択します。

The screenshot shows the 'WAN設定' (WAN Settings) interface. The 'WAN接続タイプ' (WAN Connection Type) is set to 'DHCP (自動取得)'. Other settings include: 'ホスト名' (Host Name) set to 'default', 'MTU Size' set to '1500' (with a range of 1280-1500 bytes), 'DNS自動取得' (DNS Automatic Acquisition) selected, 'DNS固定設定' (DNS Fixed Setting) unselected, 'プライマリーDNS' (Primary DNS) and 'セカンダリーDNS' (Secondary DNS) both set to '0.0.0.0', 'UPnPを有効にする' (Enable UPnP) unselected, and 'IGMP Proxyを有効にする' (Enable IGMP Proxy) selected. At the bottom, there are buttons for '保存' (Save), '適用' (Apply), and 'キャンセル' (Cancel).

- WAN 接続タイプ : 「DHCP(自動取得)」を選択します。
- ホスト名 : プロバイダとの契約資料や、既存 LAN の環境において、ホスト名の設定が必要な場合にのみ設定します。
- MTU : MTU を設定します。通常変更する必要はありません。値を変更する場合は、プロバイダへ確認して頂くか既存の LAN 環境に合わせる等して下さい。
- DNS 自動取得
DNS 固定設定 : プロバイダとの契約資料や、既存 LAN の環境に合わせて設定します。
「DNS 固定設定」を選択した場合は、プライマリーDNSとセカンダリーDNSを設定します。
- UPnP を有効にする : UPnP を有効にする場合にチェックを入れます。
- IGMP Proxy を有効にする : IGMP Proxy を有効にする場合にチェックを入れます。

5.1.2 WAN 接続タイプ PPPoE

「WAN 接続タイプ」で「PPPoE」を選択します。

The screenshot shows the 'WAN 設定' (WAN Settings) page. The 'WAN 接続タイプ' (WAN Connection Type) dropdown menu is set to 'PPPoE'. Below it are input fields for 'ユーザー名' (Username), 'パスワード' (Password), and 'サービス名' (Service Name). The '回線接続方式' (Line Connection Method) dropdown is set to 'キープアライブ' (Keep-alive), with '接続' (Connect) and '切断' (Disconnect) buttons. The '無通信待機時間' (No communication standby time) is set to 5 minutes. The 'MTU Size' is set to 1452 bytes. There are radio buttons for 'DNS 自動取得' (selected) and 'DNS 固定設定' (unselected). Below are input fields for 'プライマリDNS' (0.0.0.0) and 'セカンダリDNS' (0.0.0.0). There are checkboxes for 'UPnPを有効にする' (unchecked) and 'IGMP Proxyを有効にする' (checked). At the bottom are buttons for '保存' (Save), '適用' (Apply), and 'キャンセル' (Cancel).

- WAN 接続タイプ : 「PPPoE」を選択します。
 - ユーザー名
 - パスワード
 - サービス名
- } プロバイダとの契約資料を参照して設定します。
「DNS 固定設定」を選択した場合は、プライマリDNS とセカンダリDNS を設定します。
- 回線接続方式 : 回線接続方式を選択します。
 - ・キープアライブ : 本機起動後、常に回線接続状態になります。
 - ・自動接続 : LAN 側からのインターネットへの接続要求を検出し、回線の自動接続を行います。
 - ・手動接続 : 手動で回線の接続・切断を行います。
 - 無通信待機時間 : 前項にて「自動接続」を選択した場合に設定可能となります。ここで設定した時間の間、無通信状態が続くと回線を自動切断します。
 - MTU Size : MTU を設定します。通常変更する必要はありません。値を変更する場合はプロバイダへ確認して頂くか、既存の LAN 環境に合わせる等行って下さい。
 - DNS 自動取得
 - DNS 固定設定 : プロバイダとの契約資料や、既存 LAN の環境に合わせて設定します。「DNS 固定設定」を選択した場合は、プライマリDNS とセカンダリDNS を設定します。
 - UPnP を有効にする : UPnP を有効にする場合にチェックを入れます。
 - IGMP Proxy を有効にする : IGMP Proxy を有効にする場合にチェックを入れます。

5.1.3 WAN 接続タイプ IP アドレス固定

「WAN 接続タイプ」で「IP アドレス固定」を選択します。



WAN設定

WAN接続タイプ: IPアドレス固定

IPアドレス: 0.0.0.0

サブネットマスク: 0.0.0.0

デフォルトゲートウェイ: 0.0.0.0

MTU Size: 1500 (1400-1500 bytes)

プライマリーDNS: 0.0.0.0

セカンダリーDNS: 0.0.0.0

UPnPを有効にする

IGMP Proxyを有効にする

保存 適用 キャンセル

- WAN 側接続タイプ : 「IP アドレス固定」を選択します。
- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- MTU Size : MTU を設定します。通常変更する必要はありません。値を変更する場合はプロバイダへ確認して頂くか、既存の LAN 環境に合わせる等行って下さい。
- プライマリーDNS : プライマリーDNS を設定します。
- セカンダリーDNS : セカンダリーDNS を設定します。
- UPnP を有効にする : UPnP を有効にする場合にチェックを入れます。
- IGMP Proxy を有効にする : IGMP Proxy を有効にする場合にチェックを入れます。

5.2 LAN 設定

本機の LAN 設定を行います。

左のメニューリストから「IP 設定」→「LAN 設定」を選択します。

The screenshot shows the LAN configuration interface for the FGN-R4 router. The left sidebar contains a menu with the following items: 状態表示, 動作モード, IP設定 (selected), WAN設定, LAN設定 (highlighted with a red box), 無線LAN設定, 5GHz 無線LAN設定, 2.4GHz 無線LAN設定, and NAT設定. The main content area is titled 'LAN設定' and contains the following fields and controls:

- IPアドレス: 192.168.150.1
- サブネットマスク: 255.255.255.0
- デフォルトゲートウェイ: 192.168.150.1
- DHCPタイプ: サーバー (dropdown menu)
- 付与IPアドレス範囲: 192.168.150.100 - 192.168.150.200 (with a 'DHCPクライアントリスト' button)
- リース期限: 480 (1 ~ 10080 分)
- 固定IPアドレス: 固定IPアドレス付与設定 (button)
- ホスト名: FGN-R4

At the bottom of the form are three buttons: 保存, 適用, and キャンセル.

- IP アドレス : 本機の LAN 側の IP アドレスを設定します。
- サブネットマスク : 本機の LAN 側のサブネットマスクを設定します。
- デフォルトゲートウェイ : 本機の LAN 側のデフォルトゲートウェイを設定します。
- DHCP タイプ : 本機の DHCP サーバーの動作を選択します。
 - ・ サーバー : DHCP サーバーとして動作します。
 - ・ 無効 : DHCP 機能を無効にします。
 - ・ クライアント : DHCP クライアントとして動作します。
※本機がアクセスポイントモード時にのみ利用できます
- 付与 IP アドレス範囲 : 前項において「サーバー」が選択された場合に、DHCP サーバーが付与する IP アドレスの範囲 (開始 IP アドレスと終了 IP アドレス) を設定します。
- DHCP クライアントリスト : DHCP サーバーから IP アドレスを取得しているクライアントの情報を表示します。
- リース期限 : 付与する IP アドレスのリース期限を設定します。
- 固定 IP アドレス : DHCP サーバー 固定 IP アドレス付与設定画面を表示します。
- ホスト名 : 付与するホスト名を設定します。

5.2.1 DHCP サーバーのクライアント表示

DHCP サーバーから IP アドレスを取得しているクライアントの情報を表示します。
前項画面の「LAN 設定」内の「DHCP クライアントリスト」ボタンをクリックします。

LAN設定

IPアドレス	<input type="text" value="192.168.150.1"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
デフォルトゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.150.1"/>
DHCPタイプ	サーバー ▾
付与IPアドレス範囲	<input type="text" value="192.168.150.100"/> - <input type="text" value="192.168.150.200"/> DHCPクライアントリスト
リース期限	<input type="text" value="480"/> (1 ~ 10080 分)
固定IPアドレス	<input type="button" value="固定IPアドレス付与設定"/>
ホスト名	<input type="text" value="FGN-R4"/>



DHCPクライアントリスト

IPアドレス	MACアドレス	リース期間 (秒)
192.168.150.101	88:57:ee:94:9a:99	28794

- IP アドレス : DHCP サーバーから取得した IP アドレスを表示します。
- MAC アドレス : クライアントの MAC アドレスを表示します。
- リース期間 (秒) : リース期間の残り時間 (秒) を表示します。

5.2.2 固定 IP アドレス付与設定

クライアントの MAC アドレス情報によって、常に同じ IP アドレス（固定 IP アドレス）を付与するための設定を行います。

前項画面の「LAN 設定」内の「固定 IP アドレス付与設定」ボタンをクリックします。

The image shows two side-by-side screenshots from a network management interface. The left screenshot is titled 'LAN設定' (LAN Settings) and contains several input fields: 'IPアドレス' (192.168.150.1), 'サブネットマスク' (255.255.255.0), 'デフォルトゲートウェイ' (192.168.150.1), 'DHCPタイプ' (サーバー), '付与IPアドレス範囲' (192.168.150.100 - 192.168.150.200), 'リース期限' (480), '固定IPアドレス' (with a red box around the text '固定IPアドレス付与設定' and a red arrow pointing to the right), and 'ホスト名' (FGN-R4). The right screenshot is titled 'DHCPクライアントリスト' (DHCP Client List) and shows a checkbox for 'DHCPサーバー 固定IPアドレス付与を有効にする' (checked), followed by input fields for 'IPアドレス', 'MACアドレス', and 'コメント'. Below these is a 'リストへ登録、設定保存' button. At the bottom, there is a table with columns 'IPアドレス', 'MACアドレス', 'コメント', and '選択', and a '適用' button.

- DHCP サーバー固定 IP アドレス : 固定 IP アドレス付与を有効にする場合にチェックを入れて下さい。
- IP アドレス : 付与する IP アドレスを設定します。
- MAC アドレス : 固定 IP アドレスを付与する対象 MAC アドレスを設定します。
- コメント : 登録する MAC アドレスに関する情報を設定します。
(任意)

【設定】

IP アドレス、MAC アドレス、コメント入力後、[リストへ登録・設定保存] ボタンをクリックすると、リストへ登録されます。

[適用] ボタンをクリックし、再起動後に設定が反映されます。

The image shows two side-by-side screenshots of the 'DHCPクライアントリスト' (DHCP Client List) screen. The left screenshot shows the 'リストへ登録、設定保存' button highlighted with a red box and a red arrow pointing to the right. The right screenshot shows the same screen after the button is clicked, with the '適用' button highlighted with a red box. The table below the form now contains one entry: IPアドレス: 192.168.150.101, MACアドレス: 88-57-ee-94-9a-99, コメント: example.

6 無線 LAN

本機の無線 LAN 設定を行います。

6.1 5GHz 無線 LAN 設定

5GHz 無線 LAN の設定を行います。

6.1.1 基本設定

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「5GHz 無線 LAN 設定」→「基本設定」を選択します。

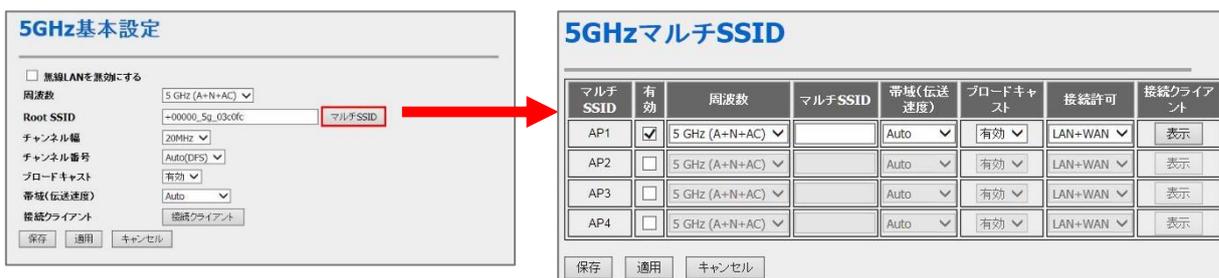
The screenshot shows the '5GHz基本設定' (5GHz Basic Settings) configuration page. On the left, a navigation menu lists various settings, with '基本設定' (Basic Settings) highlighted in red. The main content area includes a checkbox for '無線LANを無効にする' (Disable wireless LAN), a frequency selection dropdown set to '5 GHz (A+N+AC)', a text input for 'Root SSID' containing '+00000_5g_03c0fc' and a 'マルチSSID' (Multi-SSID) button, a channel width dropdown set to '20MHz', a channel number dropdown set to 'Auto(DFS)', a broadcast dropdown set to '有効' (Enabled), a band (transmission speed) dropdown set to 'Auto', and a '接続クライアント' (Connect client) dropdown set to '接続クライアント'. At the bottom are buttons for '保存' (Save), '適用' (Apply), and 'キャンセル' (Cancel).

- 無線 LAN を無効にする : 無線 LAN を無効にする場合にチェックを入れて下さい。
- 周波数 : 無線 LAN で使用する周波数を選択します。
 - ・ 5GHz (A+N+AC) : IEEE802.11a/n/ac で通信を行います。
 - ・ 5GHz (N+AC) : IEEE802.11n 及び IEEE802.11ac で通信を行います。
 - ・ 5GHz (A+N) : IEEE802.11a 及び IEEE802.11n で通信を行います。
 - ・ 5GHz (N) : IEEE802.11n でのみ通信を行います。
 - ・ 5GHz (A) : IEEE802.11a でのみ通信を行います。
- Root SSID : Root SSID を設定します。
- マルチ SSID : マルチ SSID 設定画面を表示します。
- チャンネル幅 : IEEE802.11n/ac で通信を行う際の周波数帯域を選択します。
「20MHz」、「40MHz」、「80MHz」より選択します。
- チャンネル番号 : 無線 LAN のチャンネル番号を選択します。
- ブロードキャスト : SSID をブロードキャストする場合は「有効」を選択して下さい。
SSID を隠す (ステルス) 場合は「無効」を選択して下さい。
- 帯域 (伝送速度) : 無線 LAN の伝送速度を選択します。
- 接続クライアント : Root SSID に接続しているクライアント情報の画面を表示します。

6.1.1.1 マルチ SSID 設定

5GHz 無線 LAN 設定のマルチ SSID 設定を行います。

前項画面の「5GHz 無線 LAN 設定 - 基本設定」の「マルチ SSID」ボタンを選択します。



- 有効 : チェックを入れるとマルチ SSID が有効になります。
- 周波数 : 無線 LAN で使用する周波数を選択します。
 - ・ 5GHz (A+N+AC) : IEEE802.11a/n/ac で通信を行います。
 - ・ 5GHz (N+AC) : IEEE802.11n 及び IEEE802.11ac で通信を行います。
 - ・ 5GHz (A+N) : IEEE802.11a 及び IEEE802.11n で通信を行います。
 - ・ 5GHz (AC) : IEEE802.11ac でのみ通信を行います。
 - ・ 5GHz (N) : IEEE802.11n でのみ通信を行います。
 - ・ 5GHz (A) : IEEE802.11a でのみ通信を行います。
- マルチ SSID : AP1~4 の SSID の設定を行います。
- 帯域 (伝送速度) : 無線 LAN の伝送速度を選択します。
- ブロードキャスト : SSID をブロードキャストする場合は「有効」を選択して下さい。
- 接続許可 : 無線 LAN 端末と有線 LAN ポート、WAN ポートとの通信許可を選択します。
 - ・ LAN+WAN : 無線 LAN 端末と有線 LAN ポート、WAN ポートとの通信を許可します。
 - ・ WAN : WAN ポートとの通信のみを許可します。
接続している無線 LAN 端末及び有線 LAN 端末との通信は遮断されます。
- 接続クライアント : マルチ SSID1~4 に接続している無線 LAN クライアントの情報を表示します。

6.1.1.2 無線 LAN 接続クライアント表示

本機の無線 LAN アクセスポイントに接続している無線 LAN クライアントの情報を表示します。

- Root SSID 接続クライアント

「5GHz 無線 LAN 設定 - 基本設定」内の「接続クライアント」ボタンを選択します。

5GHz基本設定

無線LANを無効にする

周波数: 5 GHz (A+N+AC)

Root SSID: +00000_5g_03c0fc [マルチSSID]

チャンネル幅: 20MHz

チャンネル番号: Auto(DFS)

ブロードキャスト: 有効

帯域(伝送速度): Auto

接続クライアント: **接続クライアント**

保存 適用 キャンセル

5GHz接続クライアントリスト

MACアドレス	周波数	送信パケット数	受信パケット数	速度 (Mbps)	省電力	有効期間 (秒)
88:57:ee:94:9a:99	11ac	52	285	86	no	300

- マルチ SSID 接続クライアント

「5GHz マルチ SSID」内の「表示」ボタンを選択します。

5GHzマルチSSID

マルチ SSID	有効	周波数	マルチ SSID	帯域(伝送速度)	ブロードキャスト	接続許可	接続クライアント
AP1	<input checked="" type="checkbox"/>	5 GHz (A+N+AC)		Auto	有効	LAN+WAN	表示
AP2	<input type="checkbox"/>	5 GHz (A+N+AC)		Auto	有効	LAN+WAN	表示
AP3	<input type="checkbox"/>	5 GHz (A+N+AC)		Auto	有効	LAN+WAN	表示
AP4	<input type="checkbox"/>	5 GHz (A+N+AC)		Auto	有効	LAN+WAN	表示

保存 適用 キャンセル

5GHz接続クライアントリスト - アクセスポイント1

MACアドレス	周波数	送信パケット数	受信パケット数	速度 (Mbps)	省電力	有効期間 (秒)
88:57:ee:94:9a:99	11ac	290	478	86	no	300

再読み込み 閉じる

- MAC アドレス : 無線 LAN クライアントの MAC アドレスを表示します。
- 周波数 : 無線 LAN クライアントの周波数を表示します。
- 送信パケット数 : 無線 LAN クライアントの送信パケット数を表示します。
- 受信パケット数 : 無線 LAN クライアントの受信パケット数を表示します。
- 速度 (Mbps) : 無線 LAN クライアントの通信速度を表示します。
- 省電力 : 無線 LAN クライアントの省電力モードを表示します。
(yes : 省電力有効 / no : 省電力無効)
- 有効期間 (秒) : 無線 LAN クライアントの有効期間を表示します。

6.1.2 拡張設定

無線 LAN の拡張設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「5GHz 無線 LAN 設定」→「拡張設定」を選択します。

The screenshot shows the '5GHz Extension Settings' page. On the left is a navigation menu with the following items: '状態表示', '動作モード', 'IP設定', '無線LAN設定', '5GHz 無線LAN設定', '基本設定', '拡張設定' (highlighted with a red box), 'セキュリティ設定', and 'サイトサーベイ'. The main content area is titled '5GHz拡張設定' and contains two settings: 'クライアント間通信遮断' with radio buttons for '有効' (selected) and '無効', and '無線出力' with radio buttons for '100%' (selected), '70%', '50%', '35%', and '15%'. At the bottom of the main area are three buttons: '保存', '適用', and 'キャンセル'.

- クライアント間通信遮断 : 無線 LAN クライアント間の通信を遮断します。
- 無線出力 : 無線出力を設定します。

6.1.3 セキュリティ設定

5GHz 無線 LAN のセキュリティ設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「5GHz 無線 LAN 設定」→「セキュリティ設定」を選択します。

The screenshot shows the '5GHzセキュリティ設定' (5GHz Security Settings) page. On the left, a navigation menu lists various settings, with 'セキュリティ設定' (Security Settings) highlighted in red. The main content area has a title '5GHzセキュリティ設定' and two dropdown menus. The first is 'SSID選択' (SSID Selection) with the value 'Root AP - +00000_5q_03c0fc'. The second is '暗号化' (Encryption) with the value '無効化' (Disabled). Below these are three buttons: '保存' (Save), '適用' (Apply), and 'キャンセル' (Cancel).

- SSID 選択 : セキュリティ設定を行う SSID を選択します。
- 暗号化 : 前項で選択した SSID の暗号化を選択します。
 - ・ 無効化 : 暗号化を無効にします。
 - ・ WEP : 暗号化を「WEP」に設定します。
 - ・ WPA : 暗号化を「WPA」に設定します。
 - ・ WPA2 : 暗号化を「WPA2」に設定します。
 - ・ WPA-Mixed : 暗号化を「WPA」「WPA2」混在させる場合に設定します。

6.1.3.1 暗号化 WEP

暗号化で「WEP」を選択した場合の設定を行います。

5GHzセキュリティ設定

SSID選択

暗号化

802.x 認証

認証方式 オープンシステム 共有キー 自動

暗号キーの長さ

暗号キーのフォーマット

WEPキー

- SSID 選択 : セキュリティ設定を行う SSID を選択します。
- 暗号化 : WEP の暗号化を選択します。
- 802.1x 認証※ : チェックを入れると IEEE 802.1x の設定項目が表示されます。
- 認証方式 : 認証方式を選択します。
 - ・ オープンシステム : オープンシステム (Open System) 認証を行います。
 - ・ 共有キー : 共有キー (Shared Key) 認証を行います。
 - ・ 自動 : 接続相手に応じて、オープンシステム (Open System) 認証か共有キー (Shared Key) 認証のどちらか片方を行います。
- 暗号キーの長さ : 暗号化キーの長さを選択します。
 - ・ 64-bit : 文字列で 5 文字 (半角英数字/記号)、16 進数で 10 文字 (半角 0～9、半角 a～f) の暗号キーを設定できます。
 - ・ 128-bit : 文字列で 13 文字 (半角英数字/記号)、16 進数で 26 文字 (半角 0～9、半角 a～f) の暗号キーを設定できます。
- 暗号キーのフォーマット : 暗号キーの形式を選択します。
 - ・ 文字列(ASCII)で設定 : 暗号キーを文字列で設定します。5 文字～13 文字 (半角英数字/記号) で設定できます。
 - ・ 16 進数(Hex)で設定 : 暗号キーを 16 進数で設定します。10 文字～6 文字 (半角 0～9、半角 a～f) で設定できます。
- WEP キー : WEP キーを設定します。任意の暗号キーを設定して下さい。

※ 802.1x 認証設定画面

IPアドレス

ポート

パスワード

詳細は、「6.1.3.3 暗号化 WPA/WPA2/WPA-Mixed エンタープライズ (RADIUS) (33 ページ)」を参照して下さい。

6.1.3.2 暗号化 WPA/WPA2/WPA-Mixed パーソナル (事前共有キー)

暗号化で「WPA」、「WPA2」、「WPA-Mixed」を選択し、認証方式で「パーソナル (事前共有キー)」を選択した場合の設定を行います。

5GHzセキュリティ設定

SSID選択

暗号化

認証方式 エンタープライズ (RADIUS) パーソナル (事前共有キー)

WPA暗号化方式 TKIP AES

WPA2暗号化方式 TKIP AES

暗号キーのフォーマット

事前共有キー

- SSID 選択 : セキュリティ設定を行う SSID を選択します。
- 暗号化 : WPA、WPA2、WPA-Mixed のいずれかを選択します。
- 認証方式 : エンタープライズ (RADIUS)、パーソナル (事前共有キー) を選択します。
- WPA 暗号化方式 : WPA の暗号化方式を選択します。 ※
- WPA2 暗号化方式 : WPA2 暗号化方式を選択します。 ※
 - ・ TKIP : 一定時間毎にキーを更新し、通信の確認/認証を行いますので 1 つの暗号キーを長時間共有する WEP よりも安全な通信を行うことが可能です。
 - ・ AES : TKIP よりも高度な暗号を用います。
- 暗号キーのフォーマット : 暗号キーの形式を選択します。
 - ・ 文字列(ASCII)で設定 : 暗号キーを文字列で設定します。5 文字～13 文字 (半角英数字/記号) で設定できます。
 - ・ 16 進数(Hex)で設定 : 暗号キーを 16 進数で設定します。10 文字～6 文字 (半角 0～9、半角 a～f) で設定できます。
- 事前共有キー : 「暗号キーフォーマット」に合わせて任意の共有キーを設定して下さい。

※ 暗号化で WPA、WPA2 を選択した場合、暗号化方式では常に AES は選択されており、TKIP は任意で選択することができます。
暗号化で WPA-Mixed を選択した場合、WPA、WPA2 の暗号化方式は常に AES と TKIP が選択されています。

6.1.3.3 暗号化 WPA/WPA2/WPA-Mixed エンタープライズ (RADIUS)

暗号化で「WPA」、「WPA2」、「WPA-Mixed」を選択し、認証方式で「エンタープライズ (RADIUS)」にチェックを入れ場合の設定を行います。

暗号化	WPA-Mixed ▼
認証方式	<input checked="" type="radio"/> エンタープライズ (RADIUS) <input type="radio"/> パーソナル (事前共有キー)
WPA暗号化方式	<input checked="" type="checkbox"/> TKIP <input checked="" type="checkbox"/> AES
WPA2暗号化方式	<input checked="" type="checkbox"/> TKIP <input checked="" type="checkbox"/> AES
IPアドレス	<input type="text"/>
ポート	1812
パスワード	<input type="text"/>

- IP アドレス : RADIUS サーバーの IP アドレスを設定して下さい。
- ポート : RADIUS サーバーのポート番号を設定して下さい。
- パスワード : RADIUS サーバーのパスワードを設定して下さい。

6.1.4 アクセス制御設定

無線 LAN のアクセス制御設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「5GHz 無線 LAN 設定」→「アクセス制御設定」を選択します。

- 無線 LAN アクセス制御モード : 無線 LAN クライアントの MAC アドレスによるアクセス制御モードを選択します。
 - ・ 無効 : MAC アドレスによるアクセス制御を行いません。
 - ・ 登録した MAC アドレス アクセス許可 : 無線 LAN 接続を許可する MAC アドレスを登録します。登録されていない MAC アドレスからの無線 LAN 接続を拒否します。
 - ・ 登録した MAC アドレス アクセス拒否 : 無線 LAN 接続を拒否する MAC アドレスを登録します。登録されていない MAC アドレスからの無線 LAN 接続を許可します。
- MAC アドレス : アクセス制御を行う MAC アドレスを設定します。
- コメント : 登録する MAC アドレスに関する情報を設定します。(任意)

【設定】

MAC アドレス、コメント入力後、[リストへ登録・設定保存] ボタンをクリックすると、「MAC アドレス登録リスト」へ登録されます。

[適用] ボタンをクリックし、再起動後に設定が反映されます。

6.1.5 サイトサーベイ

他の無線 LAN アクセスポイントの状況を表示します。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「5GHz 無線 LAN 設定」→「サイトサーベイ」を選択します。



画面内の「再読み込み」ボタンをクリックすることで、本機付近の他の無線 LAN アクセスポイントの状況が表示されます。

5GHzサイトサーベイ

再読み込み

SSID	BSSID	チャンネル	動作モード	暗号モード	強度
None					
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	40 (A+N+AC)	AP	no	69
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	40 (A+N+AC)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	59
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	40 (A+N+AC)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	59
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	60 (A+N+AC)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	57
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	60 (A+N+AC)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	56
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	44 (A+N)	AP	no	55
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	40 (A+N+AC)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	53
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	40 (A+N+AC)	AP	no	53
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	44 (A+N+AC)	AP	no	51
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	132 (A+N+AC)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	49
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	132 (A+N+AC)	AP	WPA-PSK	47
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	48 (A+AC)	AP	WEP	43
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	36 (A+N+AC)	AP	no	40
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	40 (A+N+AC)	AP	no	35
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	44 (A+N+AC)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	34
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	48 (A+N+AC)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	34
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	36 (A+N)	AP	WPA2-1X	33
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	60 (A+N+AC)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	32
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	40 (A+N+AC)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	31
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	36 (A+N+AC)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	30
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	60 (A+N+AC)	AP	no	30
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	40 (A+N+AC)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	30
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	48 (A+N+AC)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	29
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	48 (A+N+AC)	AP	no	25
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	128 (A+N+AC)	AP	no	19
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	128 (A+N+AC)	AP	no	18
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	116 (A+N)	AP	WPA2-PSK	14
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	44 (A+N)	AP	no	13
XXXXXXXXXX_XXXXXX	XXXXXXXXXX:XXXXXX	44 (A+N)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	13

6.2 2.4GHz 無線 LAN 設定

2.4GHz 無線 LAN 設定の設定を行います。

6.2.1 基本設定

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「2.4GHz 無線 LAN 設定」→「基本設定」を選択します。

状態表示

動作モード

IP設定 >

無線LAN設定 >

5GHz 無線LAN設定 >

2.4GHz 無線LAN設定 >

基本設定

拡張設定

セキュリティ設定

アクセス制御設定

2.4GHz基本設定

無線LANを無効にする

周波数 2.4 GHz (B+G+N) ▼

Root SSID +00000_03c0fc マルチSSID

チャンネル幅 20MHz ▼

チャンネル番号 Auto ▼

ブロードキャスト 有効 ▼

帯域(伝送速度) Auto ▼

接続クライアント 接続クライアント

保存 適用 キャンセル

- 無線 LAN を無効にする : 無線 LAN を無効にする場合にチェックを入れて下さい。
- 周波数 : 無線 LAN で使用する周波数を選択します。
 - ・ 2.4GHz (B+G+N) : IEEE802.11b/g/n で通信を行います。
 - ・ 2.4GHz (G+N) : IEEE802.11g 及び IEEE802.11n で通信を行います。
 - ・ 2.4GHz (B+G) : IEEE802.11b 及び IEEE802.11g で通信を行います。
 - ・ 2.4GHz (N) : IEEE802.11n でのみ通信を行います。
 - ・ 2.4GHz (G) : IEEE802.11g でのみ通信を行います。
 - ・ 2.4GHz (B) : IEEE802.11b でのみ通信を行います。
- Root SSID : Root SSID を設定します。
- マルチ SSID : マルチ SSID 設定画面を表示します。
- チャンネル幅 : IEEE802.11n で通信を行う際の周波数帯域を選択します。「20MHz」、「40MHz」より選択します。
- チャンネル番号 : 無線 LAN のチャンネル番号を選択します。
- ブロードキャスト : SSID をブロードキャストする場合は「有効」を選択して下さい。SSID を隠す (ステルス) 場合は「無効」を選択して下さい。
- 帯域 (伝送速度) : 無線 LAN の伝送速度を選択します。
- 接続クライアント : Root SSID に接続しているクライアント情報の画面を表示します。

6.2.1.1 マルチ SSID 設定

2.4GHz 無線 LAN 設定のマルチ SSID 設定を行います。

前項画面の「2.4GHz 無線 LAN 設定 - 基本設定」の [マルチ SSID] ボタンを選択します。

2.4GHz基本設定

無線LANを無効にする

周波数: 2.4 GHz (B+G+N) ▼

Root SSID: +00000_03c0fc **マルチSSID**

チャンネル幅: 20MHz ▼

チャンネル番号: Auto ▼

ブロードキャスト: 有効 ▼

帯域(伝送速度): Auto ▼

接続クライアント: 接続クライアント

保存 適用 キャンセル

2.4GHzマルチSSID

マルチ SSID	有効	周波数	マルチ SSID	帯域(伝送速度)	ブロードキャスト	接続許可	接続クライアント
AP1	<input checked="" type="checkbox"/>	2.4 GHz (B+G+N) ▼		Auto ▼	有効 ▼	LAN+WAN ▼	表示
AP2	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (B+G+N) ▼		Auto ▼	有効 ▼	LAN+WAN ▼	表示
AP3	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (B+G+N) ▼		Auto ▼	有効 ▼	LAN+WAN ▼	表示
AP4	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (B+G+N) ▼		Auto ▼	有効 ▼	LAN+WAN ▼	表示

保存 適用 キャンセル

- 有効 : チェックを入れるとマルチ SSID が有効になります。
- 周波数 : 無線 LAN で使用する周波数を選択します。
 - ・ 2.4GHz (B+G+N) : IEEE802.11b/g/n で通信を行います。
 - ・ 2.4GHz (G+N) : IEEE802.11g 及び IEEE802.11n で通信を行います。
 - ・ 2.4GHz (B+G) : IEEE802.11b 及び IEEE802.11g で通信を行います。
 - ・ 2.4GHz (N) : IEEE802.11n でのみ通信を行います。
 - ・ 2.4GHz (G) : IEEE802.11g でのみ通信を行います。
 - ・ 2.4GHz (B) : IEEE802.11b でのみ通信を行います。
- マルチ SSID : AP1~4 の SSID の設定を行います。
- 帯域 (伝送速度) : 無線 LAN の伝送速度を選択します。
- ブロードキャスト : SSID をブロードキャストする場合は「有効」を選択して下さい。
- 接続許可 : 無線 LAN 端末と有線 LAN ポート、WAN ポートとの通信許可を選択します。
 - ・ LAN+WAN : 無線 LAN 端末と有線 LAN ポート、WAN ポートとの通信を許可します。
 - ・ WAN : WAN ポートとの通信のみを許可します。
接続している無線 LAN 端末及び有線 LAN 端末との通信は遮断されます。
- 接続クライアント : マルチ SSID1~4 に接続している無線 LAN クライアントの情報を表示します。

6.2.1.2 無線 LAN 接続クライアント表示

本機の無線 LAN アクセスポイントに接続している無線 LAN クライアントの情報を表示します。

● Root SSID 接続クライアント

「2.4GHz 無線 LAN 設定 - 基本設定」内の「接続クライアント」ボタンを選択します。

2.4GHz基本設定

無線LANを無効にする

周波数: 2.4 GHz (B+G+N)

Root SSID: +00000_03c0fc [マルチSSID]

チャンネル幅: 20MHz

チャンネル番号: Auto

ブロードキャスト: 有効

帯域(伝送速度): Auto

接続クライアント: **接続クライアント**

保存 適用 キャンセル

2.4GHz接続クライアントリスト

MACアドレス	周波数	送信パケット数	受信パケット数	速度 (Mbps)	省電力	有効期間 (秒)
88:57:ee:94:9a:99	11n	9	11	52	no	300

再読み込み 閉じる

● マルチ SSID 接続クライアント

「2.4GHz マルチ SSID」内の「表示」ボタンを選択します。

2.4GHzマルチSSID

マルチSSID	有効	周波数	マルチSSID	帯域(伝送速度)	ブロードキャスト	接続許可	接続クライアント
AP1	<input checked="" type="checkbox"/>	2.4 GHz (B+G+N)		Auto	有効	LAN+WAN	表示
AP2	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (B+G+N)		Auto	有効	LAN+WAN	示
AP3	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (B+G+N)		Auto	有効	LAN+WAN	示
AP4	<input type="checkbox"/>	2.4 GHz (B+G+N)		Auto	有効	LAN+WAN	示

保存 適用 キャンセル

2.4GHz接続クライアントリスト - アクセスポイント1

MACアドレス	周波数	送信パケット数	受信パケット数	速度 (Mbps)	省電力	有効期間 (秒)
88:57:ee:94:9a:99	11n	10	67	58.5	no	300

再読み込み 閉じる

- MAC アドレス : 無線 LAN クライアントの MAC アドレスを表示します。
- 周波数 : 無線 LAN クライアントの周波数を表示します。
- 送信パケット数 : 無線 LAN クライアントの送信パケット数を表示します。
- 受信パケット数 : 無線 LAN クライアントの受信パケット数を表示します。
- 速度 (Mbps) : 無線 LAN クライアントの通信速度を表示します。
- 省電力 : 無線 LAN クライアントの省電力モードを表示します。
(yes : 省電力有効 / no : 省電力無効)
- 有効期間 (秒) : 無線 LAN クライアントの有効期間を表示します。

6.2.2 拡張設定

無線 LAN の拡張設定を行います。

のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「2.4GHz 無線 LAN 設定」→「拡張設定」を選択します。

The screenshot shows the '2.4GHz 拡張設定' (2.4GHz Extension Settings) page. On the left is a navigation menu with options: 状態表示, 動作モード, IP設定, 無線LAN設定, 5GHz 無線LAN設定, 2.4GHz 無線LAN設定, 基本設定, 拡張設定 (highlighted with a red box), and セキュリティ設定. The main content area is titled '2.4GHz 拡張設定' and contains two settings: 'クライアント間通信遮断' (Client-to-client communication blocking) with radio buttons for '有効' (checked) and '無効', and '無線出力' (Wireless power) with radio buttons for '100%' (checked), '70%', '50%', '35%', and '15%'. At the bottom of the main area are three buttons: '保存' (Save), '適用' (Apply), and 'キャンセル' (Cancel).

- クライアント間通信遮断 : 無線 LAN クライアント間の通信を遮断します。
- 無線出力 : 無線出力を設定します。

6.2.3 セキュリティ設定

2.4GHz 無線 LAN 設定のセキュリティ設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「2.4GHz 無線 LAN 設定」→「セキュリティ設定」を選択します。

The screenshot shows the '2.4GHzセキュリティ設定' (2.4GHz Security Settings) page. On the left, a navigation menu has 'セキュリティ設定' (Security Settings) highlighted with a red border. The main content area includes the following settings:

- SSID選択: Root AP - +00000_03c0fc
- 暗号化: WPA-Mixed
- 認証方式: エンタープライズ (RADIUS) パーソナル(事前共有キー)
- WPA暗号化方式: TKIP AES
- WPA2暗号化方式: TKIP AES
- 暗号キーのフォーマット: 文字列 (ASCII)
- 事前共有キー: [Redacted]

Buttons at the bottom: 保存 (Save), 適用 (Apply), キャンセル (Cancel).

- SSID 選択 : セキュリティ設定を行う SSID を選択します。
- 暗号化 : 前項で選択した SSID の暗号化を選択します
 - ・ 無効化 : 暗号化を無効にします。
 - ・ WEP : 暗号化を「WEP」に設定します。
 - ・ WPA : 暗号化を「WPA」に設定します。
 - ・ WPA2 : 暗号化を「WPA2」に設定します。
 - ・ WPA-Mixed : 暗号化を「WPA」「WPA2」混在させる場合に設定します。

6.2.3.1 暗号化 WEP

暗号化で「WEP」を選択した場合の設定を行います。

2.4GHzセキュリティ設定

SSID選択

暗号化

802.1x Authentication:

認証方式 オープンシステム 共有キー 自動

暗号キーの長さ

暗号キーのフォーマット

WEPキー

- SSID 選択 : セキュリティ設定を行う SSID を選択します。
- 暗号化 : WEP の暗号化を選択します。
- 802.1x 認証※ : チェックを入れると IEEE 802.1x の設定項目が表示されます。
- 認証方式 : 認証方式を選択します。
 - ・ オープンシステム : オープンシステム (Open System) 認証を行います。
 - ・ 共有キー : 共有キー (Shared Key) 認証を行います。
 - ・ 自動 : 接続相手に応じて、オープンシステム (Open System) 認証か共有キー (Shared Key) 認証のどちらか片方を行います。
- 暗号キーの長さ : 暗号化キーの長さを選択します。
 - ・ 64-bit : 文字列で 5 文字 (半角英数字/記号)、16 進数で 10 文字 (半角 0～9、半角 a～f) の暗号キーを設定できます。
 - ・ 128-bit : 文字列で 13 文字 (半角英数字/記号)、16 進数で 26 文字 (半角 0～9、半角 a～f) の暗号キーを設定できます。
- 暗号キーのフォーマット : 暗号キーの形式を選択します。
 - ・ 文字列(ASCII)で設定 : 暗号キーを文字列で設定します。5 文字～13 文字 (半角英数字/記号) で設定できます。
 - ・ 16 進数(Hex)で設定 : 暗号キーを 16 進数で設定します。10 文字～6 文字 (半角 0～9、半角 a～f) で設定できます。
- WEP キー : WEP キーを設定します。任意の暗号キーを設定して下さい。

※ 802.1x 認証設定画面

IPアドレス

ポート

パスワード

詳細は、「6.2.3.3 暗号化 WPA/WPA2/WPA-Mixed エンタープライズ (RADIUS) (43 ページ)」を参照して下さい。

6.2.3.2 暗号化 WPA/WPA2/WPA-Mixed パーソナル (事前共有キー)

暗号化で「WPA」、「WPA2」、「WPA-Mixed」を選択し、認証方式で「パーソナル (事前共有キー)」を選択した場合の設定を行います。

2.4GHzセキュリティ設定

SSID選択 Root AP - +00000_03c0fc

暗号化 WPA-Mixed

認証方式 エンタープライズ (RADIUS) パーソナル(事前共有キー)

WPA暗号化方式 TKIP AES

WPA2暗号化方式 TKIP AES

暗号キーのフォーマット 文字列 (ASCII)

事前共有キー ●●●●●●●●●●

保存 適用 キャンセル

- SSID 選択 : セキュリティ設定を行う SSID を選択します。
- 暗号化 : WPA、WPA2、WPA-Mixed のいずれかを選択します。
- 認証方式 : エンタープライズ (RADIUS)、パーソナル (事前共有キー) を選択します。
- WPA 暗号化方式 : WPA の暗号化方式を選択します。※
- WPA2 暗号化方式 : WPA2 暗号化方式を選択します。※
 - ・ TKIP : 一定時間毎にキーを更新し、通信の確認/認証を行いますので 1 つの暗号キーを長時間共有する WEP よりも安全な通信を行うことが可能です。
 - ・ AES : TKIP よりも高度な暗号を用います。
- 暗号キーのフォーマット : 暗号キーの形式を選択します。
 - ・ 文字列(ASCII)で設定 : 暗号キーを文字列で設定します。5 文字～13 文字 (半角英数字/記号) で設定できます。
 - ・ 16 進数(Hex)で設定 : 暗号キーを 16 進数で設定します。10 文字～6 文字 (半角 0～9、半角 a～f) で設定できます。
- 事前共有キー : 「暗号キーフォーマット」に合わせて任意の共有キーを設定して下さい。

※ 暗号化で WPA、WPA2 を選択した場合、暗号化方式では常に AES は選択されており、TKIP は任意で選択することができます。
暗号化で WPA-Mixed を選択した場合、WPA、WPA2 の暗号化方式は常に AES と TKIP が選択されています。

6.2.3.3 暗号化 WPA/WPA2/WPA-Mixed エンタープライズ (RADIUS)

暗号化で「WPA」、「WPA2」、「WPA-Mixed」を選択し、認証方式で「エンタープライズ (RADIUS)」にチェックを入れ場合の設定を行います。

暗号化	WPA-Mixed ▼
認証方式	<input checked="" type="radio"/> エンタープライズ (RADIUS) <input type="radio"/> パーソナル (事前共有キー)
WPA暗号化方式	<input checked="" type="checkbox"/> TKIP <input checked="" type="checkbox"/> AES
WPA2暗号化方式	<input checked="" type="checkbox"/> TKIP <input checked="" type="checkbox"/> AES
IPアドレス	<input type="text"/>
ポート	1812
パスワード	<input type="text"/>

- IP アドレス : RADIUS サーバーの IP アドレスを設定して下さい。
- ポート : RADIUS サーバーのポート番号を設定して下さい。
- パスワード : RADIUS サーバーのパスワードを設定して下さい。

6.2.4 アクセス制御設定

無線 LAN のアクセス制御設定を行います。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「2.4GHz 無線 LAN 設定」→「アクセス制御設定」を選択します。

MACアドレス	コメント	選択
---------	------	----

- 無線 LAN アクセス制御モード : 無線 LAN クライアントの MAC アドレスによるアクセス制御モードを選択します。
 - ・ 無効 : MAC アドレスによるアクセス制御を行いません。
 - ・ 登録した MAC アドレス アクセス許可 : 無線 LAN 接続を許可する MAC アドレスを登録します。登録されていない MAC アドレスからの無線 LAN 接続を拒否します。
 - ・ 登録した MAC アドレス アクセス拒否 : 無線 LAN 接続を拒否する MAC アドレスを登録します。登録されていない MAC アドレスからの無線 LAN 接続を許可します。
- MAC アドレス追加 : アクセス制御を行う MAC アドレスを設定します。
- コメント : 登録する MAC アドレスに関する情報を設定します。(任意)

【設定】

MAC アドレス、コメント入力後、[リストへ登録・設定保存] ボタンをクリックすると、「MAC アドレス登録リスト」へ登録されます。

[適用] ボタンをクリックし、再起動後に設定が反映されます。

MACアドレス	コメント	選択
88:57:ee:94:9a:99	example	<input type="checkbox"/>

6.2.5 サイトサーベイ

他の無線 LAN アクセスポイントの状況を表示します。

左のメニューリストから「無線 LAN 設定」→「2.4GHz 無線 LAN 設定」→「サイトサーベイ」を選択します。

画面内の「再読み込み」ボタンをクリックすることで、本機付近の他の無線 LAN アクセスポイントの状況が表示されます。

2.4GHzサイトサーベイ

再読み込み

SSID	BSSID	チャンネル	動作モード	暗号モード	強度
無線LAN_2.4GHz_1	無線LAN_2.4GHz_1	7 (B+G+N)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	54
無線LAN_2.4GHz_2	無線LAN_2.4GHz_2	1 (B+G+N)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	54
無線LAN_2.4GHz_3	無線LAN_2.4GHz_3	1 (B+G+N)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	54
無線LAN_2.4GHz_4	無線LAN_2.4GHz_4	7 (B+G+N)	AP	no	52
無線LAN_2.4GHz_5	無線LAN_2.4GHz_5	1 (B+G+N)	AP	WPA-PSK	52
無線LAN_2.4GHz_6	無線LAN_2.4GHz_6	7 (B+G+N)	AP	no	50
無線LAN_2.4GHz_7	無線LAN_2.4GHz_7	1 (B+G+N)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	50
無線LAN_2.4GHz_8	無線LAN_2.4GHz_8	7 (B+G+N)	AP	no	48
無線LAN_2.4GHz_9	無線LAN_2.4GHz_9	7 (B+G+N)	AP	no	48
無線LAN_2.4GHz_10	無線LAN_2.4GHz_10	2 (B+G)	AP	WEP	44
無線LAN_2.4GHz_11	無線LAN_2.4GHz_11	10 (B+G+N)	AP	no	40
無線LAN_2.4GHz_12	無線LAN_2.4GHz_12	6 (B+G+N)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	40
無線LAN_2.4GHz_13	無線LAN_2.4GHz_13	6 (B+G+N)	AP	WPA2-PSK	36
無線LAN_2.4GHz_14	無線LAN_2.4GHz_14	7 (B+G)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	32
無線LAN_2.4GHz_15	無線LAN_2.4GHz_15	6 (B+G)	AP	WPA2-PSK	32
無線LAN_2.4GHz_16	無線LAN_2.4GHz_16	8 (B+G+N)	AP	no	30
無線LAN_2.4GHz_17	無線LAN_2.4GHz_17	5 (B+G+N)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	30
無線LAN_2.4GHz_18	無線LAN_2.4GHz_18	8 (B+G+N)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	28
無線LAN_2.4GHz_19	無線LAN_2.4GHz_19	11 (B+G+N)	AP	WPA2-PSK	28
無線LAN_2.4GHz_20	無線LAN_2.4GHz_20	3 (B+G+N)	AP	no	26
無線LAN_2.4GHz_21	無線LAN_2.4GHz_21	1 (B+G+N)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	26
無線LAN_2.4GHz_22	無線LAN_2.4GHz_22	1 (B+G+N)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	26
無線LAN_2.4GHz_23	無線LAN_2.4GHz_23	1 (B+G+N)	AP	no	26
無線LAN_2.4GHz_24	無線LAN_2.4GHz_24	1 (B+G+N)	AP	no	18
無線LAN_2.4GHz_25	無線LAN_2.4GHz_25	6 (B+G+N)	AP	WPA2-PSK	18
無線LAN_2.4GHz_26	無線LAN_2.4GHz_26	6 (B+G+N)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	18
無線LAN_2.4GHz_27	無線LAN_2.4GHz_27	11 (B+G+N)	AP	no	16
無線LAN_2.4GHz_28	無線LAN_2.4GHz_28	1 (B+G+N)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	16
無線LAN_2.4GHz_29	無線LAN_2.4GHz_29	11 (B+G+N)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	16
無線LAN_2.4GHz_30	無線LAN_2.4GHz_30	1 (B+G+N)	AP	WPA2-PSK	16
無線LAN_2.4GHz_31	無線LAN_2.4GHz_31	11 (B+G+N)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	16
無線LAN_2.4GHz_32	無線LAN_2.4GHz_32	3 (B+G+N)	AP	WPA2-PSK	14
無線LAN_2.4GHz_33	無線LAN_2.4GHz_33	2 (B+G+N)	AP	WPA2-PSK	14
無線LAN_2.4GHz_34	無線LAN_2.4GHz_34	4 (B+G+N)	AP	WPA2-PSK	12

7 NAT

本機の NAT 設定（ルーターモード時）を行います。

7.1 DMZ 設定

WAN（インターネット）側から本機の WAN 側 IP アドレス宛の接続要求を、本機 LAN 側の特定 IP アドレス宛へ転送する設定を行います。

左のメニューリストから「NAT 設定」→「DMZ 設定」を選択します。

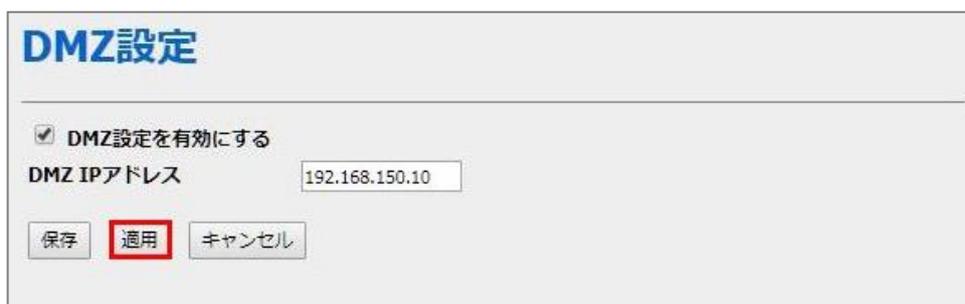


- DMZ 設定を有効にする : DMZ ホストを有効にする場合にチェックを入れます
- DMZ IP アドレス : 本機の LAN 側の転送先 IP アドレスを入力します。

【設定】

「DMZ 設定」で有効を選択し、IP アドレス入力後、〔適用〕ボタンをクリックすると、再起動後に設定が反映されます。

※登録できる IP アドレスは一つのみです。



7.2 ポートホワーディング設定

WAN（インターネット）側から本機への接続要求に対し、特定の LAN 側 IP アドレス・ポートへ転送するための設定を行います。

左のメニューリストから「NAT 設定」→「ポートホワーディング設定」を選択します。

IPアドレス	プロトコル	ポート範囲	コメント	選択
192.168.150.13	TCP+UDP	80 - 80	example	<input type="checkbox"/>

- ポートホワーディングを有効にする : ポートホワーディングを有効にする場合にチェックを入れます。
- IP アドレス : 本機の LAN 側の転送先 IP アドレスを入力します。
- プロトコル : プロトコルを選択します。
 - ・ TCP+UDP : TCP と UDP の両方を対象とします。
 - ・ TCP : TCP を対象とします。
 - ・ UDP : UDP を対象とします。
- ポート範囲 : 本機の LAN 側宛のポート番号を入力します。
- コメント : 登録するエントリに対する情報を入力します。(任意)

【設定】

「ポートホワーディング」で有効を選択し、必要情報を入力後に〔リストへ登録・設定保存〕ボタンをクリックすると、登録リストに追加されます。

〔適用〕ボタンをクリックし、再起動後に設定が反映されます。

IPアドレス	プロトコル	ポート範囲	コメント	選択	
192.168.150.13	80	80	TCP+UDP	example	<input type="checkbox"/>

※単一のポート番号を設定する場合、左右に同じ値を入力して下さい。

8 詳細設定 – ファイアウォール設定

本機のファイアウォールの設定を行います。

8.1 ポートフィルタリング

本機の LAN 側から WAN（インターネット）側方向の特定の通信（プロトコル／ポート番号）を遮断するための設定を行います。

左のメニューリストから「ファイアウォール設定」→「ポートフィルタリング設定」を選択します。

ポート範囲	プロトコル	コメント	選択

- ポートフィルタリングを有効にする : ポートフィルタリングを有効にする場合にチェックを入れます。
- ポート範囲 : 制限対象とするポート番号の範囲を入力します。
- プロトコル : プロトコルを選択します。
 - ・ TCP+UDP : TCP と UDP の両方を対象とします。
 - ・ TCP : TCP を対象とします。
 - ・ UDP : UDP を対象とします。
- コメント : 登録するエントリに対する情報を入力します。（任意）

【設定】

「ポートフィルタリング」で有効を選択し、必要情報を入力後に〔リストへ登録・設定保存〕ボタンをクリックすると、登録リストに追加されます。〔適用〕ボタンをクリックし、再起動後に設定が反映されます。

ポート範囲	プロトコル	コメント	選択
5000	TCP+UDP	example	<input type="checkbox"/>

8.2 IP フィルタリング設定

本機の LAN 側の特定 IP アドレスから、WAN（インターネット）側方向の通信を遮断するための設定を行います。

左のメニューリストから「ファイアウォール設定」→「IP フィルタリング」を選択します。

IPアドレス	プロトコル	コメント	選択

- IP フィルタリングを有効にする : IP フィルタリングを有効にする場合にチェックを入れます。
- IP アドレス : 制限対象とする本機の LAN 側の IP アドレスを入力します。
- プロトコル : プロトコルを選択します。
 - ・ TCP+UDP : TCP と UDP の両方を対象とします。
 - ・ TCP : TCP を対象とします。
 - ・ UDP : UDP を対象とします。
- コメント : 登録するエントリに対する情報を入力します。(任意)

【設定】

「IP フィルタリング」で有効を選択し、必要情報を入力後に〔リストへ登録・設定保存〕ボタンをクリックすると、登録リストに追加されます。

〔適用〕ボタンをクリックし、再起動後に設定が反映されます。

IPアドレス	プロトコル	コメント	選択
192.168.150.110	TCP+UDP	example	<input type="checkbox"/>

8.3 MAC フィルタリング設定

本機の LAN 側の特定の MAC アドレスから、WAN (インターネット) 側方向の通信を遮断するための、設定を行います。

左のメニューリストから「ファイアウォール設定」→「MAC フィルタリング」を選択します。

MACアドレス	コメント	選択
---------	------	----

- MAC フィルタリング : MAC フィルタリングを有効にする場合にチェックを入れます。
- MAC アドレス : 通信を禁止する送信元の MAC アドレスを設定します。
- コメント : 登録するエントリに対する情報を入力します。(任意)

【設定】

「MAC フィルタリング」で有効を選択し、必要情報を入力後に「リストへ登録・設定保存」ボタンをクリックすると、登録リストに追加されます。

「適用」ボタンをクリックし、再起動後に設定が反映されます。

MACアドレス	コメント	選択
aa:bb:cc:dd:ee:ff	example	<input checked="" type="checkbox"/>

8.4 URL フィルタリング設定

特定の URL またはキーワードを含むサイトへの接続を拒否するための設定を行います。

左のメニューリストから「ファイアウォール設定」→「URL フィルタリング」を選択します。

状態表示

動作モード

IP設定 >

無線LAN設定 >

NAT設定 >

ファイアウォール設定 ▾

ポートフィルタリング設定

IPフィルタリング設定

MACフィルタリング設定

URLフィルタリング設定

URLフィルタリングを有効にする

URL・キーワード

リストへ登録, 設定保存

URLフィルタリング 登録リスト

URL・キーワード	選択
-----------	----

選択したエントリを削除 すべて削除 適用

- URL フィルタリングを有効にする : URL フィルタリングを有効にする場合にチェックを入れます。
- URL・キーワード : 拒否する URL、キーワードを設定します。

【設定】

URL・キーワードの入力後、「リストへの登録・設定保存」ボタンをクリックすると、「URL フィルタリング登録リスト」へ登録されます。

URLフィルタリング設定

URLフィルタリングを有効にする

URL・キーワード

リストへ登録, 設定保存

URLフィルタリング 登録リスト

URL・キーワード	選択
-----------	----

選択したエントリを削除 すべて削除 適用

URLフィルタリング 登録リスト

URL・キーワード	選択
http://example.com/	<input type="checkbox"/>

選択したエントリを削除 すべて削除 適用

9 システム管理

本機のマネージメント（各種管理）を行います。

9.1 パスワード設定

本機の Web GUI へログオンする際のユーザー名、パスワードを設定します。
左のメニューリストから「システム管理」→「パスワード設定」を選択します。



【注意】 現在のパスワードが正しく入力されていない場合は、新しいパスワードは設定できません。

9.2 ファームウェアバージョンアップ

本機のファームウェアの更新（バージョンアップ）を行います。
左のメニューリストから「システム管理」→「ファームウェアバージョンアップ」を選択します。



[ファイルを選択] ボタンをクリックし、更新用ファイルを選択した後、[適用] ボタンをクリックします。

【注意】 ファームウェアの更新中に本機の電源を切ったりケーブルを抜いたりしないで下さい。
また、更新作業は有線 LAN ポートから行って下さい。

9.3 設定保存・読み込み設定

本機の設定をファイルに保存する、あるいはファイルから設定を読み込むことができます。
左のメニューリストから「システム管理」→「設定保存・読み込み設定」を選択します。



- 設定をファイルに保存 : [保存] ボタンをクリックすると、現在の本機の設定がファイルとして保存されます。
- 設定をファイルから読み込む : 選択した設定ファイルを読み込むことができます。

9.4 リモート管理

本機のリモート管理（本機の WAN 側から、本機の Web GUI へのアクセスと Ping 応答の許可）の設定を行います。

左のメニューリストから「システム管理」→「リモート管理」を選択します。



- WAN 側からの Ping に応答を返す : 本機の WAN 側への Ping 応答についての応答を返す場合にチェックを入れます。
- WAN 側からの設定画面へのログインを許可する : 本機の WAN 側から設定画面へのログインを許可する場合にチェックを入れます。
 - HTTP 接続ポート : 本機の WAN 側からの設定画面へアクセスするポート番号（本機の待ち受けポート番号）を設定します。

9.5 時刻情報

本機の時刻情報の設定を行います。

左のメニューリストから「システム管理」→「タイムゾーン」を選択します。

The screenshot shows the '時刻情報' (Time Information) configuration page. On the left, a navigation menu is visible with 'システム管理' expanded and 'タイムゾーン' highlighted with a red border. The main content area displays the following settings:

- 現在時刻**: 2017年12月5日 17時38分28秒
- タイムゾーン**: (GMT+09:00)Osaka, Sapporo, Tokyo
- NTPクライアントを有効にする**
- NTPサーバー**: 133.243.238.244 - JAPAN (selected), with an option to set a custom IP address.

Buttons for '保存' (Save), '適用' (Apply), and 'キャンセル' (Cancel) are located at the bottom of the settings area.

- 現在時刻 : 現在の時刻が表示されます。
- タイムゾーン : 工場出荷値で (GMT+09:00)Osaka,Sapporo,Tokyo が選択されています。(通常、変更する必要はありません。)
- NTP クライアントを有効にする : NTP クライアントを有効にする場合にチェックを入れます。
- NTP サーバー : 参照する NTP サーバーの IP アドレスを設定します。

9.6 VPN パススルー

本機の VPN パススルーの設定を行います。

左のメニューリストから「システム管理」→「VPN パススルー」を選択します。



- IPsec パススルーを有効にする : IPsec パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。
- PPTP パススルーを有効にする : PPTP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。
- L2TP パススルーを有効にする : L2TP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。
- IPv6 パススルーを有効にする : IPv6 パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。

9.7 スピードテスト

本機の WAN 側とインターネット側との間の速度を測定します。
左のメニューリストから「システム管理」→「スピードテスト」を選択します。

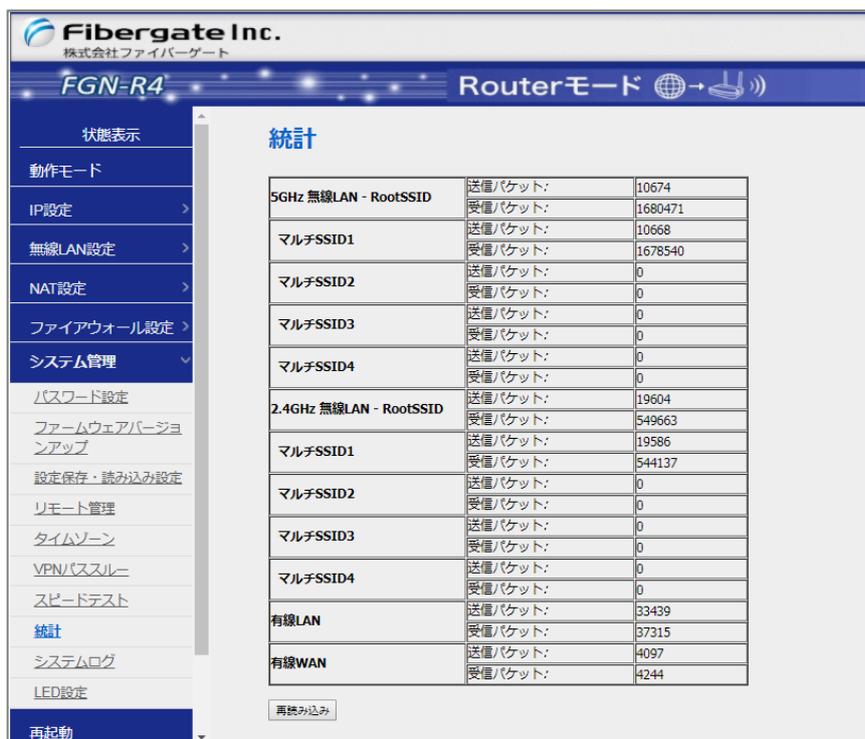


- Upload(上り) : ボタンをクリックすると本機とインターネット側とのの上りの速度を測定します。
- Download(下り) : ボタンをクリックすると本機とインターネット側とのの下りの速度を測定します。
 - ・ 測定結果 : 前項で測定した結果が表示されます (単位 : Mbps)。

9.8 統計

本機の各インターフェースの通信量を表示します。

左のメニューリストから「システム管理」→「統計」を選択します。



インターフェース	送信パケット	受信パケット
5GHz 無線LAN - RootSSID	10674	1680471
マルチSSID1	10668	1678540
マルチSSID2	0	0
マルチSSID3	0	0
マルチSSID4	0	0
2.4GHz 無線LAN - RootSSID	19604	549663
マルチSSID1	19586	544137
マルチSSID2	0	0
マルチSSID3	0	0
マルチSSID4	0	0
有線LAN	33439	37315
有線WAN	4097	4244

- 5GHz 無線 LAN-RootSSID : 無線 LAN 5GHz の送受信パケットの値を表示します。
 - ・ マルチ SSID1~4 : 無線 LAN 5GHz のマルチ SSID1~4 の送受信パケットの値を表示します。
- 2.4GHz 無線 LAN-RootSSID : 無線 LAN2.4GHz の送受信パケットの値を表示します。
 - ・ マルチ SSID1~4 : 無線 LAN2.45GHz のマルチ SSID1~4 の送受信パケットの値を表示します。
- 有線 LAN : LAN ポートの送受信パケットの値を表示します。
- 有線 WAN : WAN ポートの送受信パケットの値を表示します。

9.9 システムログ

本機のシステムログを GUI に表示、または LAN 側・WAN 側へ向けて送信するための設定を行います。左のメニューリストから [詳細設定] → [マネージメント] → [システムログ] を選択します。



- システムログを有効にする : システムログを有効にする場合にチェックを入れます。
- 全ての情報 : 本機が出力し得る全てのログを出力します。
- 無線 LAN : 無線 LAN に関するログを出力します。
- DoS 検知 : DoS 検知に関するログを出力します。
- リモートログを有効にする : LAN 内の PC 等にログを出力する場合、チェックを入れます。
(リモートログを有効にした場合、GUI 画面内にログは表示されません。)
- ログ受信 IP アドレス : 本機のログを受信する PC 等の IP アドレスを入力します。

9.10 LED 設定

本機の各 LED の点灯、消灯の設定を行います。

左のメニューリストから「システム管理」→「LED 設定」を選択します。



- 2.4GHz LED : 2.4GHz 無線 LAN の LED を消灯する場合は、無効にチェックを入れます。
- 5GHz LED : 5GHz 無線 LAN の LED を消灯する場合は、無効にチェックを入れます。
- WAN LED : WAN ポートの LED を消灯する場合は、無効にチェックを入れます。
- LAN LED : LAN ポートの LED を消灯する場合は、無効にチェックを入れます。
- Status LED : 電源ステータスの LED を消灯する場合は、無効にチェックを入れます。

10 再起動・リセット・ログアウト

10.1 再起動

本機の再起動を行います。
左のメニューリストから「再起動」を選択します。



[はい] ボタンをクリックすると、本機が再起動します。

10.2 リセット

本機のリセット（設定初期化）を行います。
左のメニューリストから「リセット」を選択します。



[はい] ボタンをクリックすると、本機の設定が全て工場出荷値に戻ります。
(自動的に本機の再起動が行われます。)

10.3 ログアウト

本機のログアウトを行います。
左のメニューリストから「ログアウト」を選択します。



The screenshot shows a settings menu on the left with the following items: 状態表示, 動作モード, IP設定, 無線LAN設定, NAT設定, ファイアウォール設定, システム管理, 再起動, リセット, and ログアウト. The 'ログアウト' item is highlighted with a red border. To the right, a dialog box titled 'ログアウト' asks 'ログアウトしてよろしいですか?' (Are you sure you want to log out?). A red box highlights the 'はい' (Yes) button.

[はい] ボタンをクリックすると、本機のログアウトを行います。
ユーザー名とパスワード入力画面が表示された時点で、ログアウトが完了しています。



The screenshot shows an authentication screen titled '認証が必要です' (Authentication is required). It displays the URL 'http://192.168.150.1' and a warning: 'このサイトへの接続ではプライバシーが保護されません' (Your connection to this site is not protected). There are two input fields: 'ユーザー名' (Username) and 'パスワード' (Password). Below the fields are two buttons: 'ログイン' (Login) and 'キャンセル' (Cancel).

11 付録

11.1 初期値一覧

下記に各機能の初期値一覧を示します。

項目	初期値
動作モード	アクセスポイントモード (APモード)
無線 LAN 設定 (5GHz/2.4GHz 共通)	
無線 LAN 機能	有効
チャンネル番号	Auto
ブロードキャスト SSID	有効
帯域 (伝送速度)	Auto
マルチ SSID 機能	無効
RootSSID セキュリティ設定	WPA-Mixed
事前共有キー	12345678
クライアント間通信遮断	無効
無線出力	100%
無線 LAN アクセス制御	無効
5GHz 無線 LAN	
SSID 周波数	IEEE802.11a/n/ac
RootSSID	+00000_5g_ "各機器の LAN 側 MAC アドレス下 6 桁"
2.4GHz 無線 LAN	
SSID 周波数	IEEE802.11b/g/n
RootSSID	+00000_"各機器の LAN 側 MAC アドレス下 6 桁"
IP 設定 (アクセスポイントモード)	
IP アドレス	192.168.150.100
サブネットマスク	255.255.255.0
IP 設定 (ルーターモード)	
IP アドレス	192.168.150.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCP サーバー機能	有効
付与 IP アドレス範囲	先頭 : 192.168.150.101 終了 : 192.168.150.200
リース期限	480 分
IGMP プロキシ機能	有効
WAN 設定	
WAN 側接続モード	DHCP
MTU	1500
DNS	自動取得
UPnP 機能	有効
IPsec パススルー機能	有効
PPTP パススルー機能	有効
L2TP パススルー機能	有効
IPv6 パススルー機能	有効
ファイアウォール	
ポートフィルタリング	無効
IP フィルタリング	無効
MAC フィルタリング	無効
URL フィルタリング	無効
システム管理	
NTP クライアント機能	有効

11.2 制限値一覧

下記に各機能の入力・登録数の制限値の一覧を示します。

項目	入力・登録制限値
ログインユーザー名	16 文字
ログインパスワード	32 文字
無線 LAN 設定 (5GHz/2.4GHz 共通)	
RootSSID	32 文字
マルチ SSID	32 文字
無線 LAN アクセス制御	20 件
IP 設定 (ルーターモード)	
DHCP 固定 IP アドレス	20 件
NAT 設定	
ポートホワーディング	20 件
ファイアウォール	
ポートフィルタリング	20 件
IP フィルタリング	20 件
MAC フィルタリング	20 件
URL フィルタリング	16 件

11.3 製品仕様

● ハードウェア仕様

項目	仕様	備考
スイッチ	電源スイッチ (スライドスイッチ)、リセットボタン	
LED	⏻ (電源)	緑色
	WAN	緑色/橙色
	LAN	緑色/橙色
	2.4G	緑色
	5G	緑色
イーサネット (前面 LAN)	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T (RJ-45) ×1 ポート Auto MDI/MDI-X	
イーサネット (背面 WAN)	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T (RJ-45) ×1 ポート Auto MDI/MDI-X	
電話	RJ11 ポート×1 (正面)、4 芯端子×1 (背面)	
無線 LAN	IEEE802.11 b/g/a/n/ac	
電源	Power over Ethernet (IEEE802.3af に準拠)	PoE 受電に対応
外形寸法	約 42.2 (W) ×69.0 (H) ×38.5 (D) mm	
埋込部寸法	約 42.2 (W) ×69.0 (H) ×30.0 (D) mm	
消費電力	最大 : 約 6.8W	
動作環境	温度 0~40℃、湿度 10~90%	結露なきこと
保存環境	温度 -20~70℃、湿度 5~95%	結露なきこと

● 無線 LAN 仕様

項目	仕様	備考
対応規格	IEEE802.11 b/g/a/n/ac	
対応チャンネル	2.4GHz 帯 : 1~13ch 5GHz 帯 : 36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch	
対応周波数	2.4GHz 帯、5GHz 帯 (W52/W53/W56)	
伝送速度	IEEE802.11b: 最大 11Mbps	
	IEEE802.11g: 最大 54Mbps	
	IEEE802.11a: 最大 54Mbps	
	IEEE802.11n: 最大 300Mbps	
	IEEE802.11ac: 最大 433Mbps	
伝送方式	IEEE802.11b : DSSS 方式 (直接拡散型スペクトラム拡散)	
	IEEE802.11g/n/a/ac : OFDM 方式 (直交周波数分割多重変調)	
アンテナ	2.4GHz 帯内蔵アンテナ×2 個、5GHz 帯内蔵アンテナ×1 個	
マルチ SSID	最大 10 個	

動作モード	インフラストラクチャ	
セキュリティ	WEP (キー長: 64bit/128bit)	
	WPA-PSK (AES)	
	WPA2-PSK (TKIP/AES)	
	WPA/WPA2-Mixed (TKIP/AES)	
	クライアント間通信遮断	
	無線 LAN アクセス制御 (MAC アドレスベース)	ルーターモード時

● 有線 LAN 仕様

項目	仕様	備考
対応規格	IEEE802.3i (10BASE-T)	
	IEEE802.3u (100BASE-TX)	
	IEEE802.3ab (1000BASE-T)	
インターフェース	RJ-45 ポート×2 (背面側 WAN×1、前面側 LAN×1)	
伝送速度	10/100/1000Mbps (Auto Negotiation、Auto MDI/MDI-X)	

● ソフトウェア仕様

項目	仕様	備考
動作モード	アクセスポイントモード ルーターモード	ソフトウェア切替
WAN 設定	DHCP 設定	ルーターモード時
	固定 IP 設定(手動設定)	ルーターモード時
	PPPoE 設定	ルーターモード時
LAN 設定	固定 IP アドレス	ルーターモード時
	DHCP サーバー/クライアント (AP モード時)	無効/有効 切替
IP アドレス変換	NAPT (IP マスカレード)	ルーターモード時
ファイアウォール	DMZ ホスト	ルーターモード時
	ポートフォワード	ルーターモード時
	ポートフィルタリング	ルーターモード時
	IP フィルタリング	ルーターモード時
	MAC フィルタリング	ルーターモード時
	URL フィルタリング	ルーターモード時
IPv6 対応	IPv6 パススルー	ルーターモード時
VPN 対応	IPsec パススルー、PPTP パススルー、L2TP パススルー	ルーターモード時
コンフィグ管理	保存、読み込み、初期化	
設定インターフェース	Web GUI (ブラウザ)	

● その他 (ラベル関係)

項目	仕様	備考
リアパネル	製品名ラベル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 型番 ・ 販売元 ・ シリアル番号 (バーコード付) ・ LAN MAC アドレス ・ 認証ロゴ (TELEC、VCCI class-B)

11.4 トラブルシューティング/Q&A 集

Q. 電源が入らない。(本機前面のスイッチを ON にしても「POWER」が点灯しない。)

A. WAN ポートの接続状態を確認して下さい。

- 本機背面の「WAN」ポートが、LAN ケーブル (RJ45) と正しく接続されているか確認して下さい。
- 「WAN」ポートの LAN ケーブルが PoE HUB (又は PoE インジェクター) と正しく接続されているか確認してください。

Q. 本機の WebGUI にアクセスできない。

A. PC 等の端末と本機前面の「LAN」ポートが、LAN ケーブル (RJ45) で正しく接続されているか確認して下さい。(本機前面の「LAN」LED が点灯していることを確認して下さい。)

- PC 等の端末の IP アドレスを「192.168.150.2」等の 192.168.150.100 以外で他の機器と衝突しない値へ固定設定して下さい。※

※工場出荷状態では AP モードのため本機は PC 等に対して IP アドレスを自動的に付与しません。

Q. 本機を介して、インターネットへ接続できない。

A. 本機前面の「WAN」LED が点灯しているか確認して下さい。

- PC 等の端末と本機前面の「LAN」ポートが、LAN ケーブル (RJ45) で正しく接続されているか確認して下さい。(本機前面の「LAN」LED が点灯していることを確認して下さい。)
- 端末の IP アドレスを固定している場合、他の機器と IP アドレスが重複していないか確認して下さい。
また、端末の TCP/IP 設定の「デフォルトゲートウェイ」や「DNS」の設定値に誤りが無いか確認して下さい。
- 端末の IP アドレスを自動取得に設定している場合、IP アドレスが正しく取得できているか確認して下さい。
 - ・本機の動作モードが「AP」の場合：
→上流のルーターから IP アドレスが取得できているか確認して下さい。
 - ・本機の動作モードがルーターモードの場合：
→本機から IP アドレスが取得できているか確認して下さい。

Q. Wi-Fi 接続ができない。

A. PC 等の端末側に設定した SSID やセキュリティ設定 (WPA/WPA2 共有キーや WEP 暗号キー) が本機の設定と合っているか確認して下さい。

- PC 等の端末と本機の間には障害物がある場合、本機に近づけて再度お試し下さい。
- 電子レンジやその他の無線機器が近くにある場合、それらの機器から離れて再度お試し下さい。
- 本機の無線 LAN チャンネルを変更して、再度お試し下さい。
「(6.1.1 基本設定 (5GHz) (26 ページ)、(6.2.1 基本設定 (2.4GHz) (36 ページ) を参照して下さい。)

Q. 接続可能な端末の台数は？

A. 本機の無線 LAN アクセスポイント (マルチ SSID 含む)、本機前面の「LAN」ポート (端末を複数接続する場合は、別途 HUB が必要) あわせて 10 台前後を目安として下さい。
(実際の通信内容やインターネット回線の帯域等によって異なります。)

Q. 無線 LAN の端末間の通信を禁止できますか？

A. 「クライアント間通信遮断」を有効にすることにより、本機の無線 LAN アクセスポイントに接続した無線 LAN の端末間の通信を禁止できます。
「(6.1.2 基本設定 (5GHz) (29 ページ)、(6.2.2 基本設定 (2.4GHz) (39 ページ) を参照して下さい。)

株式会社ファイバーゲート

〒105-0012 東京都港区芝大門 2-10-12 KDX 芝大門ビル 2F

 **Fibergate Inc.**
株式会社ファイバーゲート